

令和 6 年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2024

令和6年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2024

目 次

■ 展示事業	
1 特別企画展	4
2 コレクション展	5
3 小企画展	9
■ 交流事業	
1 招聘事業	12
2 受入支援事業	21
3 地域交流事業	23
4 展示	24
■ 教育普及事業	27
■ ミュージアム施策事業	28
■ ボランティア事業	29
■ 広報活動	31
■ 所蔵作品	
1 新所蔵作品	34
2 貸出一覧	39
3 修復一覧	40
■ 観覧者数	41
■ 活動記録	45
■ 名簿	47



展示事業

おいでよ!夏の美術館vol.1 エルマーのぼうけん展



会 期 2024年7月16日(火)～8月25日(日)(9:30～17:30、
会期中は無休)

会 場 福岡アジア美術館 企画ギャラリー、アートカフェ

主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、テレビ西日本、西
日本新聞イベントサービス

協 賛 NTT西日本

企 画 協 力 ブルーシープ

後 援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市文化芸術振興財
団、福岡市教育委員会、福岡県私立幼稚園振興協会、
福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、福岡県子ども
会育成連合会、福岡県保育協議会、西日本鉄道

開 催 日 数 41日間

観 覧 者 数 25,773 人

2007年より17年にわたり開催してきた「絵本
ミュージアム」をリニューアルし、「おいでよ!夏の
美術館」として、親も子も楽しめる夏のイベントと
して開催。初回は、絵本『エルマーのぼうけん』を展
開する企画で、130点を超す貴重な原画やダミー本
など制作の資料を日本で初公開し、親世代の関心を
ひく展示をもうけた。さらに、絵本の世界に入って
遊べる4つの展示により、子どもたちがエルマーの
冒険の世界を会場内で体験して楽しむ会場構成と
した。また、会場内には世界中の冒険絵本や、冒険に
関連する当館の所蔵作品、アジアの絵本も併設展示
した。

ポスター B2 [制作] ブルーシープ

チ ラ シ A3 [制作] ブルーシープ

関 連 事 業 ◇ワークショップ
「でかけよう ぼうけんのたびへ1『ぼうけんセッ
トをつくろう』」

講師: YES AND
日時: 8月3日(土)10:30～12:00/13:30～15:00
会場: アートカフェ

◇ワークショップ
「でかけよう ぼうけんのたびへ3『エルマーのぼ
うしをつくろう』」
講師: YES AND
日時: 7月16日(火)、7月20日(土)、8月10日(土)、8
月17日(土)、8月24日(土)10:00～15:00
会場: アートカフェ

◇ワークショップ
地球にやさしい粘土で遊ぼう「しぜんにかえる『み
んなのねんど』工作」、「ジュース糖度実験」
提供: エフコープ生活協同組合
講師: エフコープ生活協同組合
日時: 7月30日(木)、7月31日(金)10:00～17:00
会場: アートカフェ

◇コンサート
「でかけよう ぼうけんのたびへ2『エルマーのぼ
うけんコンサート』」
アーティスト: 岩石功(ハーモニカ)、清水康弘(ギ
ター)、野田雅仁(パーカッション)
日時: 8月12日(月・祝)11:00～12:00/13:30～
14:30
会場: アートカフェ

◇読み聞かせ
「テレビ西日本アナウンサーによる読み聞かせ」
講師: テレビ西日本アナウンサー
日時: 毎週水曜日(7月11:30～、13:00～/8月
13:00～)
会場: アートカフェ

◇読み聞かせ
「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」
講師: 福岡アジア美術館ボランティア
日時: 7月21日(日)、7月23日(火)、7月28日(日)、8
月4日(日)、8月11日(日)、8月13日(火)、8月25日
(日) 11:30～12:00/13:00～13:30
会場: キッズコーナー

主な関連記事

2024. 7.22 博多経済新聞

2024. 7.25 西日本新聞 朝刊

アジアギャラリーでは、開館25周年を記念する大型コレクション企画として「アジアン・ポップ」「ベストコレクションⅡーしなやかな抵抗」展を実施し、そのほか3本の所蔵品によるコレクション展を開催した。

福岡アジア美術館開館25周年記念 コレクション展 アジアン・ポップ



会 期 2024年4月20日(土)～9月3日(火)計122日間
※水曜日は休館。ただし、7月16日(火)～8月25日(日)の期間は開館

会 場 福岡アジア美術館 アジアギャラリー(7階)

主 催 福岡アジア美術館

協 力 福岡市文化芸術振興財団

企 画 趙純恵

会場デザイン ツカサ創研

観 覧 者 数 39,297人

大量消費社会が生み出した商業広告などのイメージを表現に取り込み、時代や社会をアイロニカルに捉える「ポップアート」は、1950年代から60年代にかけてイギリスやアメリカ、そして日本でも隆盛し世界に広がり、アジア各地でも1980年代頃から現在まで盛んに制作されている。本展では、当館が所蔵するポップアートの傾向を示す作品を多数紹介するとともに、アーティストが創作の源泉とした大衆美術(映画や商業ポスターなど)をあわせて展示。合計127点の展覧作品をとおり、ユーモアと批評性を兼ね備えた現代アートと、時代の空気や人々の欲望を映し出す大衆美術の、双方の魅力を感じることができる、アジア美術館ならではの「ポップアート」展。

会期中には、福岡内外のゲストを迎えて展覧作に関連したインド映画上映やDJパフォーマンスをおこなうなど、一連の関連イベントを開催。企画にちなんだドリンク・フードを楽しみながら、多くの人々がアジアのポップカルチャーに親しむ機会となった。

ポスター B2 [デザイン] DICTOM DESIGN

チラシ A4 [デザイン] DICTOM DESIGN

関 連 事 業 ◇アジアン・ポップ☆ナイト

出展作品に関連したインド映画『炎』のダイジェスト上映、トーク、屋台出店など

ゲスト: パフィー吉川(映画評論家)、下寺孝典(TAIYA)、三好剛平(三声舎)

日時: 2024年5月25日(土) 17:00～21:00

会場: アートカフェ

◇アジアン・ポップ☆イベントⅠ

アジア楽曲DJパフォーマンス、映画『炎』上映

出演: DJ PARTY「ソムタム・ワナカーン」

日時: 6月15日(土) 12:30～19:00

会場: アートカフェ、あじびホール

◇アジアン・ポップ☆イベントⅡ

映画『炎』上映、同作字幕担当者による解説トーク

講師: 松岡環(アジア映画研究者)

日時: 8月17日(土) 15:00～19:00

会場: あじびホール

アジアン・ポップ 関連記事

2024. 5. 1 福岡市政だより

2024. 5.14 博多経済新聞

2024. 5.20 博多経済新聞

2024. 5.23 西日本新聞 朝刊

2024. 5.25 朝日新聞 朝刊

2024. 6.10 博多経済新聞

2024. 6.15 北九州市政だより

関連放送

2024. 5.21 NHK「ロクイチ」

福岡アジア美術館開館25周年記念 ベストコレクションⅡ しなやかな抵抗



会 期 2024年9月14日(土)～2025年4月8日(火)計172日間
※水曜日及び12月26日～1月1日は休館
会 場 福岡アジア美術館 アジアギャラリー(7階)
主 催 福岡アジア美術館
協 力 福岡市文化芸術振興財団
企 画 栗原ふみ
会場デザイン ツカサ創研
観 覧 者 数 41,408人

所蔵作品から、アジア現代アートの傑作を厳選して紹介する「ベストコレクション」展の第2弾。既存の社会規範や美術の在り方などに対し、鋭い批判精神を貫き、しなやかに抵抗してきた、アジア美術のスターアーティスト8名の作品を展示した。また、近年新たに収蔵した、アジア美術の存在を世界に知らしめた鬼才、ホアン・ヨンビン作品《駱駝》を本展において初公開。広報物のメインビジュアルにも同作を採用し、広くアピールする機会とした。

本展では来場者への配布物として、作品を読み解くヒントを視覚的に提示する『超図解ガイド』を作成。さらに、日本語に加えて英中韓の多言語でのギャラリートークを実施し、PLAY! PARKとの共同企画で子供向けのシリーズイベントを行うなど、さまざまなバックグラウンドや年齢層の来場者を想定したイベントを多数展開し、幅広いオーディエンスの来館の機会となった。

ポスター B2 [デザイン]長末香織
チ ラ シ A4 [デザイン]長末香織
小冊子(超図解ガイド) [デザイン]長末香織
[編 集]佐々木玄太郎

関 連 事 業 ◇ルー・ヤン(陸揚) アーティストトーク&上映会
出品作家のルー・ヤンが、初期から近年までの自身

の作品をダイジェスト上映しながら紹介
日時:2024年11月16日(土)14:00～16:00
会場:あじびホール

◇多言語によるギャラリートツアー
多様なルーツを持つ来場者に向けて、英語・中国語・韓国語で本展の見所を解説
2024年12月8日(日)/2025年3月23日(日)
[英語]宮川緑
2025年2月1日(土)
[中国語]佐々木玄太郎
2025年2月23日(日)
[韓国語]李昭賢
※各回 14:00～14:45
会場:アジアギャラリー

◇学芸員によるギャラリートツアー
日時:2025年1月26日(日)/2月22日(土)/3月8日(土)/3月9日(日)
※各日 13:30～14:00、15:00～15:30
会場:アジアギャラリー

◇「駱駝」を語りつくす!あじびナイト・ダイアログ
さまざまなバックグラウンドを持つメンバーで対話をしながら、出展作品の《駱駝》を鑑賞するワークショップを開催
日時:2025年3月2日(日)17:30～19:30
会場:アジアギャラリー

◇シリーズイベント「アジビをアジみ!」
PLAY! PARK(東京立川)との共同企画で、自由な遊びをとおしてアジアと親しむイベントとトークを開催

・アジア料理と包む!遊ぶ!
南アジアのサモサ、ベトナムの生春巻き、中国のマントウの3つの遊具を設置
期間:2025年2月1日(土)～4月8日(火)
会場:アートカフェ

・アジア吹雪
アジア各地のことばの書かれた紙吹雪を使った遊び
日時:2025年2月1日(土)/2月23日(日)/2月24日(月・祝)/3月29日(土)
※各日11:00～11:15、13:30～13:45、15:00～15:15
会場:アートカフェ

真夏のあじびアドベンチャー アジア美術を冒険しよう

- ・ウタマのプロフ帳
展覧会出品作品から企画した、プロフィール帳
制作のワークショップ
日時：2025年2月23日(日)15:30～16:45/2月24
日(月・祝)11:30～12:45、15:30～16:45
会場：アートカフェ
- ・トーク「あじび×PLAY!PARK流～あたらしい遊
びのつくり方」
「アジビをアジミ!」を企画したPLAY! PARKキュ
レーターをゲストに迎え、本企画やユニークな
遊具の制作秘話などを紹介
ゲスト：小栗里奈、川合由美(PLAY! PARKキュ
レーター)
日時：2025年3月29日(土)15:00～16:30
会場：アートカフェ



会 期 2024年6月27日(木)～9月3日(火)
会 場 福岡アジア美術館 アジアギャラリー(7階)
企 画 佐々木玄太郎
観 覧 者 数 21,759人

夏休み企画として「冒険」をテーマに、不思議いっ
ぱいの世界や物語を描いた作品や、いつもの日常を
ファンタジーのように変幻自在に捉えた作品を紹
介。神話の世界の冒険物語から、都市に潜む小さな
生き物たちの世界まで、6か国12作家の作品18点の
展示をおこなった。また来場者には、展覧会の世界
観を反映した「冒険マップ」を配布した。

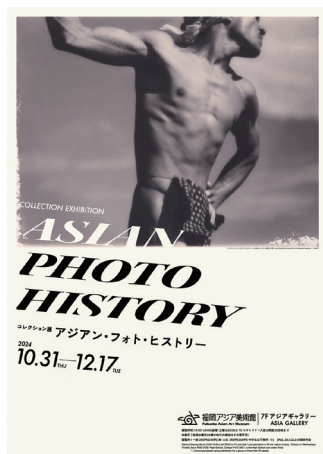
ベストコレクションⅡ 関連記事

2024. 9.15 福岡市政だより
2024.10. 7 博多経済新聞
2024.10.15 北九州市政だより
2024.10.18 西日本新聞 朝刊
2024.11.11 博多経済新聞
2024.12. 7 日本経済新聞 朝刊
2024.12.31 読売新聞 朝刊
2025. 1.16 博多経済新聞
2025. 2. 1 福岡市政だより
2025. 2.15 福岡市政だより
2025. 3. 1 福岡市政だより
2025. 3.15 福岡市政だより

関連放送

2024.10. 5 TVQ「ぐっ!ジョブ」
2024.12. 1 LOVE FM「OUR CULTURE, OUR VIEW」
2024.12.29 NHK「日曜美術館アートシーン」
2025. 1.16 FBS「福岡くん。」

アジアン・フォト・ヒストリー



会 期 2024年10月31日(木)～12月17日(火)
 会 場 福岡アジア美術館 アジアギャラリー(7階)
 企 画 趙純恵
 観 覧 者 数 10,300人

約150年にわたるアジアの写真史を所蔵作品で振り返る企画。アジア各地で生み出された写真の「被写体/撮影者」の関係に注目しながら、19世紀後半に西洋向けに輸出されたスタジオ写真から、第二次大戦後の前衛写真、多様な手法で撮影された「現代美術」としての写真までを紹介。

日韓国交正常化60周年記念 韓国美術のリアリティ



会 期 2024年12月19日(木)～2025年4月8日(火)
 会 場 福岡アジア美術館 アジアギャラリー(7階)
 企 画 佐々木玄太郎
 観 覧 者 数 18,000人

2025年に日本と韓国が国交正常化60周年を迎えることを記念した企画。コレクション作品19点を通して、1960年代以降の韓国美術を紹介。韓国社会の激動の歴史をたどりながら、時代を象徴するトピックを軸として各時代の作品を展示し、それらの背景となっている作家ひとりひとりが触れてきた社会のリアリティをひもといた。

福岡アジア文化賞受賞記念
キムスージャ展



会 期 2024年9月14日(土)～10月29日(火)
 会 場 福岡アジア美術館 アジアギャラリー(7階)
 企 画 五十嵐理奈
 観 覧 者 数 13,108人

当館の所蔵作家であるキムスージャが、2024年度の福岡アジア文化賞の芸術・文化賞を受賞したことを記念して開催した企画。同氏は、人の一生とともにある布という素材を軸に、縫う、包む、解くという一貫したテーマで、私たちの世界や時代が直面する課題に普遍的な問いを投げかけてきた。本展では、当館が所蔵する初期インスタレーション作品《演繹的オブジェ》とともに、代表的映像作品《針の女》を展示し、あわせて作家の関連資料を紹介した。



交 流 事 業

交流事業

1 招聘事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、市民との共同制作やワークショップ、トークなどの美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。

当館の招聘事業は、令和4年度2期から、招聘作家の対象を国内外にひろげ、制作活動の拠点をArtist Cafe Fukuoka (旧舞鶴中学校)のスタジオに移したアーティスト・イン・レジデンス事業として拡充し、実施している。



第1期

マハブブ・ジョキオ
(パキスタン) [美術作家]

1992年パキスタン・メラブプール生まれ、ラホール在住
滞在期間: 7月12日(金)～9月21日(土)

□主な活動

①作品制作・展示

鯉のぼりの風習を参照しながら、99匹の絶滅した魚を模したインスタレーション《登竜門からの消失》を制作。「第22回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 空と地のはざままで」では、舞鶴公園の名島門前の屋外に展示し、道行く多くの人たちが作品を鑑賞した。



《登竜門からの消失》
2024年、舞鶴公園 名島門前



制作している様子

②トーク

7月14日(日)

キックオフ・トーク マハブブ・ジョキオ/レガ・アウンディア・ブトゥリ/安田葉/浦川大志/上村卓大

参加者: 一般62人

場 所: Artist Cafe Fukuoka ギャラリー



キックオフ・トーク

8月10日(土)

スタジオ公開

参加者: 一般27人

場 所: Artist Cafe Fukuoka



スタジオ公開

9月15日(日)

アート・ラウンド・テーブル

参加者: 一般81人

場 所: Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース



アート・ラウンド・テーブル



第1期

レガ・アウンディア・プトゥリ
(インドネシア) [美術作家]

1988年生まれ、インドネシア・バンドン在住
滞在期間: 7月8日(月)～9月30日(月)

□主な活動

①作品制作・展示

深刻化する環境問題に適応しながら生きる人間たちが、陸と水中で生きる両生類に近い姿となっていく「進化の過程」を作品化。福岡の人々から譲り受けた廃家電などを利用したインスタレーション《ペロディスカス・サビエンス》として「第22回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 空と地のはざままで」で展示した。



《ペロディスカス・サビエンス》
2024年、Artist Cafe Fukuoka ギャラリー



《ペロディスカス・サビエンス》(拡大・部分)
2024年、Artist Cafe Fukuoka ギャラリー



制作している様子

②トーク

7月14日(日)

キックオフ・トーク マハブ
ブ・ジョキオ/レガ・アウン
ディア・プトゥリ/安田葉/浦
川大志/上村卓大
参加者: 一般62人
場 所: Artist Cafe Fukuoka
ギャラリー



キックオフ・トーク

8月10日(土)

スタジオ公開
参加者: 一般27人
場 所: Artist Cafe Fukuoka



スタジオ公開

9月15日(日)

アート・ラウンド・テーブル
参加者: 一般81人
場 所: Artist Cafe Fukuoka
コミュニティスペース



アート・ラウンド・テーブル



第1期

エコ・ヌグロホ
(インドネシア) [美術作家]

1977年インドネシア・ジョグジャカルタ生まれ、ジョグジャカルタ在住。

滞在期間: 8月24日(土)～9月21日(土)

□主な活動

①作品制作・展示

滞在制作では数十枚重ね合わせた柔道着をキャンパスに見立て、そこに福岡の活気のある街や人々から刺激をうけたヌグロホの心象風景を描写。「第22回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 空と地のはざままで」では、Artist Cafe Fukuoka (旧舞鶴中学校)の校舎のベランダに展示した。



《フライングオーケストラ》
2024年、Artist Cafe Fukuoka 北校舎ベランダ

②トーク

9月15日(日)

アート・ラウンド・テーブル

参加者: 一般81人

場 所: Artist Cafe Fukuoka コミュニティスペース



アート・ラウンド・テーブル



制作している様子



第1期

安田 葉
(日本) [美術作家]

1988年神奈川県海老名市生まれ、神奈川県在住
滞在期間: 7月1日(月)～10月2日(水)

□主な活動

①作品制作・展示

2019年からインドネシアの風文化や太平洋諸島の自然環境を研究し、持続可能な芸術表現としての風を制作している。[第22回 アーティスト・イン・レジデンスの成果展 空と地のはざま]では、バリ島のkite作家であるイ・カデック・ドゥイ・アルミカ氏と協力し、福岡を象徴する「北風」と、インドネシアを象徴する「南風」が交錯する雄大なインスタレーション《風でつながるコミュニティ: 北風と南風》を旧体育館のグランドスタジオに展示した。



《風でつながるコミュニティ: 北風と南風》
2024年、協力: イ・カデック・ドゥイ・アルミカ、
Artist Cafe Fukuoka グランドスタジオ

②ワークショップ

7月25日(木)～
8月24日(土)

ワークショップ

「福岡に暮らす
人々と作る500
の風」

福岡県八女市産
の和紙と竹を使
いインドネシア

と日本の伝統的な風作りの技術を使った様々な形の風をあじ
びボランティアスタッフと制作した。

参加者: 38人

場 所: 福岡アジア美術館 交流スタジオ



ワークショップ

③トーク

7月14日(日)

キックオフ・トーク マハブ
ブ・ジョキオ/レガ・アウン
ディア・プトゥリ/安田葉/浦
川大志/上村卓大

参加者: 一般62人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
ギャラリー



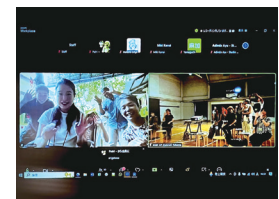
キックオフ・トーク

8月10日(土)

スタジオ公開

参加者: 一般27人

場 所: Artist Cafe Fukuoka



スタジオ公開

9月15日(日)

アート・ラウンド・テーブル

参加者: 一般81人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
コミュニティスペース



アート・ラウンド・テーブル



第2期

ブルーノ・ルイス
(メキシコ) [美術作家]

1990年メキシコ生まれ、メキシコシティ在住
滞在期間: 10月5日(土)~12月25日(水)

□主な活動

①作品制作・展示

福岡ではガリ版の起源と用途について、集中してリサーチをおこなった。大東化工株式会社の謄写技術資料館を訪ねて、ガリ版や原紙の開発過程や歴史を学んだ。また、福岡で活動しているガリ版印刷の愛好家たちと一緒にワークショップをおこなった。『第23回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 周縁からはじまる』では、Artist Cafe Fukuoka スタジオで、ミクス



《ガリ版オタクの会》
2024年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ

②ワークショップ

11月5日(火)

「『ガリガリ』のイメージを作品にしよう!」

「ガリガリ」から連想するものをガリ版用のシートに描き、インクとローラーで手刷りするワークショップをおこなった。

参加者: 名島小学校児童55人

場 所: 福岡アジア美術館 交流スタジオ



ワークショップ



ワークショップ「『ガリガリ』のイメージを作品にしよう!」で制作した名島小学校の児童の作品、福岡アジア美術館 交流スタジオ

11月29日(金)

「ガリ版オタクの会」

参加者: 一般17人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
スタジオ



オープニング・トーク

③トーク

10月14日(月)

キックオフ・トーク

参加者: 一般54人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
コミュニティスペース

12月14日(土)

オープニング・トーク

参加者: 一般60人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
スタジオ

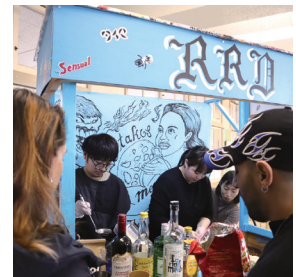
④オープニングパーティー

“RRD×YATAI BAR TAIYA”

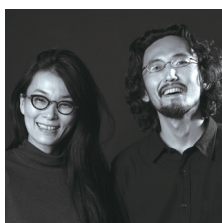
12月14日(土)

参加者: 一般60人

場 所: Artist Cafe Fukuokaスタジオ



オープニングパーティー



第2期

杉原信幸・中村綾花
(日本) [美術作家]

杉原信幸 1980年長野県生まれ、長野県在住
中村綾花 1982年沖縄県生まれ、長野県在住
(ポートレート撮影: Luke Liu)
滞在期間: 10月8日(火)～12月25日(水)

□主な活動

①作品制作・展示

2010年より「信濃の国 原始感覚美術祭」を毎年主催するなど、長野を拠点に活動。今回のレジデンスでは、古事記にも記される海の民・安曇族の存在に着目し、志賀島や豊前、対馬などリサーチをおこなった。「第23回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 周縁からはじまる」では、Artist Cafe Fukuokaギャラリーにおいて《海の中道の磯良》を発表。最終日には制作した磯良の面をまとい、豊前神楽と原始感覚一座とともに即興舞を披露し、その後レジデンスを振り返るトークをおこなった。



《漂流木の舟》《なみまふね》
2024年、福岡アジア美術館 アートカフェ



制作している様子

②ワークショップ

「漂流物で船を作ろう!」
11月15日(金)

志賀島周辺の漂流物と児童や先生が集めた自然の材料を使って舟をつくるワークショップをおこなった。

参加者: 舞鶴小学校児童
132人

場 所: 福岡アジア美術館
アートカフェ



ワークショップ

③トーク

10月14日(月)

キックオフ・トーク

参加者: 一般54人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
コミュニティスペース

12月14日(土)

オープニング・トーク

参加者: 一般60人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
ギャラリー

12月22日(日)

パフォーマンス「磯良の舞」、
アフタートーク

参加者: 一般132人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
ギャラリー



ワークショップ「漂流物で舟を作ろう!」で制作した舞鶴小学校の児童の作品



キックオフ・トーク



オープニング・トーク



パフォーマンス「磯良の舞」



福岡作家

浦川大志
(福岡) [美術作家]

1994年生まれ、福岡県在住
滞在期間: 2024年7月1日(月)~12月25日(水)

□主な活動

①作品制作・展示

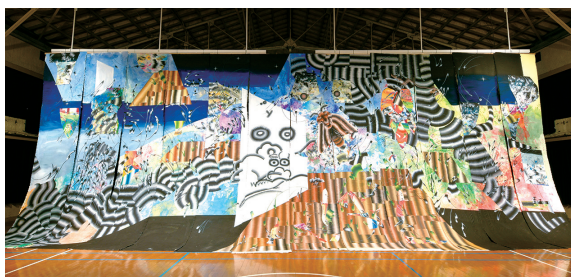
以前から興味をもっていた「博多べい」をモチーフとしてリサーチをおこなった。レジデンス1期の9月に開催された「第22回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 空と地のはざままで」では、中間報告として《準備室: 解体された壁のためのストレッチ》をスタジオに展示。またレジデンスの締め括りとなる12月の「第23回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 周縁からはじまる」では、旧体育館全体をつかった《オープンパノラマ: 蜚虫のためのスケッチ、あるいは焼けた壁についての個人的なカーテン》を展示した。



制作している様子



《準備室: 解体された壁のためのストレッチ》
2024年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ



《オープンパノラマ: 蜚虫のためのスケッチ、あるいは焼けた壁についての個人的なカーテン》
2024年、Artist Cafe Fukuoka グランドスタジオ



②トーク

7月14日(日)
キックオフ・トーク マハブ
ブ・ジョキオ/レガ・アユン
ディア・ブトゥリ/安田葉/浦
川大志/上村卓大
参加者: 一般62人
場 所: Artist Cafe Fukuoka
ギャラリー



アート・ラウンド・テーブル

9月15日(日)
アート・ラウンド・テーブル
参加者: 一般81人
場 所: Artist Cafe Fukuoka
コミュニティスペース



キックオフ・トーク

10月14日(月)
キックオフ・トーク
参加者: 一般54人
場 所: Artist Cafe Fukuoka
コミュニティスペース



オープニング・トーク

12月14日(土)
オープニング・トーク
参加者: 一般60人
場 所: Artist Cafe Fukuoka
グランドスタジオ



福岡作家

上村卓大
(福岡) [美術作家]

1980年高知県生まれ、福岡県在住
滞在期間: 2024年7月1日(月)~12月25日(水)

□主な活動

①作品制作・展示

スタジオに制作場所とは別の機能を与えることで、公共空間における「美術」の意味を問い直すインスタレーションを制作。9月の「第22回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 空と地のはざままで」で展示した《Occupied / Vacant (仮題)》を、12月の「第23回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 周縁からはじまる」では、電話や電力やお金などの生活インフラを通して外部とつながる《「0927535225」もしくは「スカスカのオブジェ」》として発表した。



《Occupied / Vacant (仮題)》
2024年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ



制作している様子



《「0927535225」もしくは「スカスカのオブジェ」》
2024年、Artist Cafe Fukuoka スタジオ

②ワークショップ

「アジ美にひみつの基地を作ろう!」

11月7日(木)

交流スタジオに置いてある机やイス、プラスチック、段ボールなどを自由に使って秘密基地をつくるワークショップをおこなった。

参加者: 田島小学校児童18人
場 所: 福岡アジア美術館交流スタジオ



ワークショップ

③トーク

7月14日(日)

キックオフ・トーク マハブ
ブ・ジョキオ/レガ・アウン
ディア・ブトゥリ/安田葉/浦
川大志/上村卓大

参加者: 一般62人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
ギャラリー



キックオフ・トーク

9月15日(日)

アート・ラウンド・テーブル

参加者: 一般81人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
コミュニティスペース



アート・ラウンド・テーブル

10月14日(月)

キックオフ・トーク

参加者: 一般54人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
コミュニティスペース



オープニング・トーク

12月14日(土)

オープニング・トーク

参加者: 一般60人

場 所: Artist Cafe Fukuoka
スタジオ



交換レジデンス

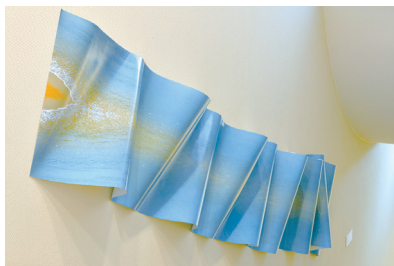
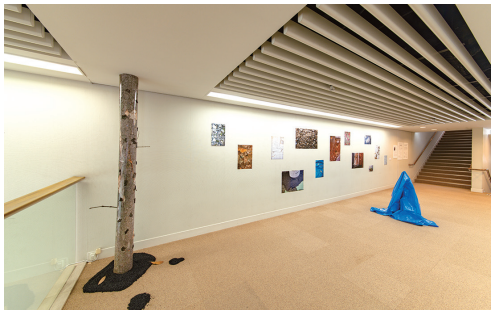
クワン・リョウウォン
(韓国) [美術作家]

2000年韓国生まれ、光州市在住
滞在期間: 2025年1月20日(月)～3月20日(木)

□主な活動

①作品制作・展示

福岡アジア美術館と光州市立美術館との交換レジデンス作家として、福岡で2カ月間の滞在制作を実施。レンズを通して感覚的な世界を探索するクワンは、境界という曖昧な領域に留まりながら、定義されないものの関係を見つめてきたアーティスト。福岡の海浜部などを巡って数多くの写真を撮影したクワンは、その成果をインスタレーション《また会えますように》として福岡アジア美術館M8で発表した。



《また会えますように》
2025年、福岡アジア美術館 M8



制作している様子

②ワークショップ

3月11日(火)

「私に送る手紙: 思い出の写真を使って新しい風景を作ろう!」
子どもたちが事前に撮影していた写真にシールやビーズ、モールなどの素材を使ってコラージュ作品を制作するワークショップをおこなった。

参加者: 城西中学校生徒12人

場 所: 福岡アジア美術館 交流スタジオ



ワークショップの様子

③トーク

3月8日(土)

アーティスト・トーク

参加者: 一般60人

場 所: 福岡アジア美術館 M8



アーティスト・トーク

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究をおこなうことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査・研究活動を支援するもの。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度以降、海外から美術作家等の招聘ができなかったが、令和4年度に再開した。



シエ・ゾーリン
(マレーシア) [美術作家]

1980年生まれ、マレーシア在住

滞在期間: 2025年2月12日(水)～3月11日(火)

「ユナイテッド・オーバーシーズ銀行絵画展 2022」にてマレーシア部門最優秀賞を受賞し、当館に1カ月間滞在。

□主な活動

①作品制作・展示

地図の線、道のひび割れ、言語の隔たり、職人の技や環境などに関心を持ち、リサーチと作品制作をおこなう。成果展示では、生産者から入手したイグサや教わった草編みの技術などを用いて、《福岡マッピング/マッピング》《破いた/泣いたけど終わらない》《閉ざされた扉》《降り続く雨》《忘れ物》などの数多くの作品を制作した。



リサーチの様子



展示の様子



《降り続く雨》
2025年、福岡アジア美術館 アートカフェ



展示の様子

②ワークショップ・トーク

3月8日(土)

「アーティスト・トーク」

参加者: 60人

場 所: 福岡アジア美術館 館内各所



アーティスト・トーク



ジェレミー・ヒア
(シンガポール) [美術作家]

1972年生まれ、シンガポール在住
滞在期間: 2025年2月12日(水)～3月11日(火)
「ユナイテッド・オーバーシーズ銀行絵画展 2023」にてシンガポール部門最優秀賞を受賞し、当館に1カ月間滞在。

□主な活動

①作品制作・展示

シンガポールの華僑文化では表現されることの少ない妖怪について、日本で描かれる妖怪をリサーチし、版画作品の《本の虫の妖怪》《廁の妖怪》を制作。普段は展示をしない図書コーナーやトイレのなかに印刷した作品を展示し、新たな鑑賞体験を作り出した。



作業している様子



《本の虫の妖怪》
2025年、福岡アジア美術館



《廁の妖怪》
2025年、福岡アジア美術館

②トーク

3月8日(土)
「アーティスト・トーク」
参加者: 60人
場 所: 福岡アジア美術館 館内各所



アーティスト・トーク

博多リバレイン灯明

(「第28回博多灯明ウォッチング2024」同時開催)

10月19日(土)18:00~21:00

場 所:博多リバレイン フェスタスクエア

毎年秋に開催される博多リバレインの灯明ウォッチングでは、レジデンス作家が灯明による地上絵のデザインと制作を担当する。今回は杉原信幸×中村綾花(長野)が、フェスタスクエア(ホテルオークラとリバレインセンタービルの間の通路)に、遣唐使船をテーマにした「遣唐使船波図灯明」をあじびボランティアや地域の人たちと制作した。



博多リバレイン灯明での「遣唐使船波図灯明」



制作している様子

交流事業における招聘事業および受入支援事業の取り組みや、進行中のプログラムの様子をより多くの人に伝えるために、「アーティスト・イン・レジデンスの成果展」「あじびレジデンスの部屋」等を開催。

第22回 アーティスト・イン・レジデンスの 成果展 空と地のはざままで



会 期 2024年9月14日(土)～9月29日(日)
会 場 Artist Cafe Fukuoka(福岡市中央区城内2-5)
企 画 中尾智路、趙純恵、藤井泉
観 覧 者 数 40,000人

第1期に滞在していたマハブ・ジョキオ(パキスタン)、レガ・アユンディア・プトゥリ(インドネシア)、エコ・ヌグロホ(インドネシア)、安田葉(神奈川)、浦川大志(福岡)、上村卓大(福岡)による成果展示。浦川大志、上村卓大は2期を通じての滞在のため、経過発表という形での展示となった。
スタジオのあるArtist Cafe Fukuokaの内部だけでなく、建物のベランダや舞鶴公園の名島門前といった多彩な場所での展示となり、近くを通った人など多くの来場者が足を運んだ。
トークイベントも開催し、6人のアーティストそれぞれの制作やリサーチについての対談をおこなった。

ポスター B2 [デザイン] 堺由加子
チラシ A4 [デザイン] 堺由加子

第23回 アーティスト・イン・レジデンスの 成果展 周縁からはじまる



会 期 2024年12月14日(土)～12月22日(日)
会 場 Artist Cafe Fukuoka(福岡市中央区城内2-5)
企 画 中尾智路、趙純恵、藤井泉
観 覧 者 数 2,184人

第2期に滞在していたブルーノ・ルイス(メキシコ)、杉原信幸×中村綾花(長野)、浦川大志(福岡)、上村卓大(福岡)による成果展示。
教室の黒板をスクリーンにする、体育館という広大な空間で巨大なキャンバスを吊り下げるなど、中学校の跡地であるという会場の特徴を活かした展示となった。
オープニングパーティーではメキシコの料理がふるまわれ、会期最終日には豊前神楽とコラボレーションしたパフォーマンスがおこなわれるなど、会期中のイベントは地元の人々との交流が盛んなものとなった。

ポスター B2 [デザイン] 堺由加子
チラシ A4 [デザイン] 堺由加子

第1期レジデンス関連記事

2024. 9.15 福岡市政だより
2024. 9.18 西日本新聞朝刊

第2期レジデンス関連記事

2024. 9.15 市政だより
2024.12.14 西日本新聞朝刊

レジデンス制作作品公開



会 期 2025年3月6日(土)～3月16日(日)
 会 場 福岡アジア美術館館内各所
 企 画 中尾智路、趙純恵、藤井泉
 観 覧 者 数 2,918人

光州市立美術館との交換レジデンスで滞在していたクォン・リョウォン(韓国)と、受入支援事業で滞在していたシエ・ソーリン(マレーシア)、ジェレミー・ヒア(シンガポール)による作品展示。美術館内の7階ロビーやアートカフェ、階段の踊り場、図書閲覧室やトイレ、ロッカーなど、館内の様々な場所で作品と出会う展示となった。

会期中のトークイベントでは、通常のレジデンス事業と比較して少し短い期間の滞在となる中で、アーティストたちがどのようにリサーチや制作をおこなったのかが語られた。

メインビジュアル [デザイン] 堺由加子

あじびレジデンスの部屋1 「路上のスクャノグラフィー — アンキ・プルバンドノ」



路上のスクャノグラフィー — アンキ・プルバンドノ 展示風景

会 期 2024年4月20日(土)～9月3日(火)
 会 場 福岡アジア美術館アジアギャラリー(7階)
 企 画 蒲池昌江
 観 覧 者 数 39,297人

「第4回福岡アジア美術トリエンナーレ2009」の交流プログラムで福岡に滞在したインドネシアのアンキ・プルバンドノを紹介。プルバンドノは、2005年からスクャノグラフィーという手法を使って、異なるオブジェを結び付けて新たな物語を作り出す写真作品を各地で制作してきた。

ここでは福岡トリエンナーレで展示された《空腹でいこう》や、「記憶」シリーズなどの福岡で制作された作品、市内の小学生とおこなったワークショップの記録、またジョグジャカルタで最近開催された個展の様子などを動画で紹介した。

あじびレジデンスの部屋2
「ミャンマーの美術作家たちはいまー
アウンコー」



ミャンマーの美術作家たちはいまーアウンコー 展示風景

会 期 2024年9月14日(土)～12月17日(火)
会 場 福岡アジア美術館アジアギャラリー(7階)
企 画 五十嵐理奈
観 覧 者 数 23,408人

アンキ・プルバンドノと同じく「第4回福岡アジア美術トリエンナーレ2009」で招へいされ、福岡で滞在制作したミャンマーのアウンコーを紹介。村で育った幼年時代や故郷をテーマに制作した《アウンコーの村》や、福岡滞在中に人々との交流のなかで作った作品、そしてコロナ禍や軍事クーデターを経てパリへ移るまでの様子を記録した映像作品《竹のいかにー追憶2020-2024》など、彼の活動を幅広く紹介した。

あじびレジデンスの部屋3
「都市を映す」



都市を映す 展示風景

会 期 2024年12月19日(木)～2025年4月8日(火)
会 場 福岡アジア美術館アジアギャラリー(7階)
企 画 李昭賢
観 覧 者 数 18,000人

それぞれ異なる時期に福岡に滞在しながら、福岡という「都市」に着目して作品制作した3人のレジデンス作家を紹介した。

2004年度滞在のムン・キョンウォン(韓国)による天神地下街や川端商店街を往来する人々の様子をとらえた映像作品《Stop it!》、2015年度滞在のチュンリン・ジョリー・モク(香港)による川端商店街の日々の映像を記録した《店を見る》、そして2023年度滞在のチェン・ウェイジェン(台湾)による外国人ならではの眼差しで街を見つめた作品《止まれ》など、変化をつづける福岡の都市の魅力をしめす展示となった。

関連記事

2024.11.15 福岡市政だより

教育普及事業

◎学校等による団体見学

放課後等デイサービスはぐぽん	15人	4月29日
さくら国際高等学校	40人	4月30日
大分県立芸術緑丘高等学校	120人	5月10日
Convent of the Holy Infant Jesus Secondary	14人	5月30日
福岡歯科大学	26人	6月 1日
あけぼの保育園	28人	6月 3日
佐賀県立有田江工業高等学校	38人	6月 6日
放課後デイサービス「わかさ」	11人	6月 9日
福岡市立三苫小学校	104人	6月13日
スタディプレイス	25人	6月14日
中正書院	26人	7月 1日
学校法人九州呉学園専門学校日本デザイナー学院	102人	7月16日
福岡市立原北小学校	128人	7月16日
あじさい保育園	32人	7月19日
ブライト保育園福岡東比恵	20人	8月 2日
放課後等デイサービスハグプラス	23人	8月10日
こどもディサービスハッピーフラワー	21人	8月17日
ひなたの風保育園	16人	8月22日
放課後等デイサービス小さな目のクジラ	22人	8月23日
北九州市立菅生中学校	6人	9月13日
福岡市立脇山小学校	17人	9月19日
山口芸術短期大学	74人	9月19日
福岡市立今津特別支援学校	20人	9月20日
BOGEON大学校	23人	9月24日
福岡市立早良小学校	39人	10月 4日
福岡雙葉小学校	37人	10月 8日
福岡市立百道浜小学校	89人	10月10日
福岡県立太宰府高等学校	52人	10月12日
福岡市立和白東小学校	128人	10月21日
福岡市立志賀島小学校	4人	10月21日
福岡市立野芥小学校	136人	10月21日
福岡市立玄界小学校	2人	10月22日
福岡市立愛宕浜小学校	66人	10月24日
福岡市立田隈小学校	92人	10月25日
大阪府立工芸高等学校	40人	10月29日
大阪府立工芸高等学校	78人	10月31日
福岡市立名島小学校	65人	11月 5日
宮若市立宮若中学校	9人	11月 5日
CHIJ Katong Convent	24人	11月 7日
福岡市立田島小学校	23人	11月 7日
福岡市立原北小学校	100人	11月 8日
つくば開成福岡高等学校	59人	11月11日
粕屋町立大川小学校	26人	11月14日
福岡市立舞鶴小学校	139人	11月15日
中村学園大学	63人	11月16日
九州産業大学	33人	11月24日
福岡市立下山門小学校	96人	11月29日
福岡市立堤丘小学校	37人	12月 3日
九州大学	27人	12月 3日
長崎日本大学高等学校	42人	12月 6日
北九州市立広徳中学校	23人	12月 6日
九州産業大学	12人	12月 7日

九州産業大学	6人	12月 8日
福岡市立美和台小学校	154人	12月10日
福岡県立古賀特別支援学校	13人	12月13日
九州産業大学	35人	12月14日
専門学校日本デザイナー学院	62人	12月16日
福岡市立照葉北小学校	121人	1月24日
福岡市立博多小学校	20人	1月28日
福岡市立城南小学校	26人	1月30日
福岡市立脇山小学校	14人	2月27日
福岡市立原北小学校	12人	2月27日
福岡市立城西中学校	12人	3月11日
福岡市立松原中学校	9人	3月17日

◎博物館実習

(5月から11月までの中で10日間程度)

筑紫女学園大学	1人
福岡大学	1人
佐賀大学	1人
西南学院大学	1人
九州産業大学	1人

◎職業実習(高校生)

福岡シュタイナー学園	1人
------------	----

◎教育ツール

リーフレット「あじびでの鑑賞のやくそく」

小学生以下の学校団体見学の事前学習ツールとして、鑑賞の際のルールを記したリーフレットを製作。

企画: 李昭賢
デザイン: 河村美季



◎アジア美術学習サイト拡充

アジア近現代美術を学ぶための和英バイリンガルのウェブサイト「アジア美術資料室」(ラーニングサイト)の入門ページ「知る」に「重要作家」を新設、12人の解説を掲載。

<https://asianart-gateway.jp/>



ミュージアム施策事業

1 福岡ミュージアムウィーク

「出会いの場」「知識の場」「発見の場」としての美術館・博物館の役割をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」を記念して、福岡市内の18施設(福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡県立美術館、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアムSupported by DREAM ORDER、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館、能古博物館、福岡市動植物園、福岡市文学館、博多の食と文化の博物館ハクハク、高取焼本家味楽窯美術館、福岡女子大学美術館、福岡市科学館、チームラボフォレスト福岡-SBI証券)が連携し、5月18日から26日までさまざまな催しを開催した。

福岡アジア美術館の催し

□トーク&上映&フード・イベント

「アジア・ポップ☆ナイト」

日 時:5月25日(土)17:00~21:00

講 師:バフィー吉川、下寺孝典(TAIYA)、三好剛平(三声舎)

参加者:120人

場 所:アートカフェ



アジア・ポップ☆ナイト

□ワークショップ&トーク

「みんなでデコって、福岡のオリジナル・リキシャを作ろう!」

日 時:5月26日(日)

①10:00~12:20 ②14:00~16:00

参加者:27人



みんなでデコって、福岡のオリジナル・リキシャを作ろう!

□ギャラリーツアー

日 時:5月20日(月)、21日(火)、23日(木)、24日(金)14:00~14:40

参加者:一般36人

場 所:アジアギャラリー

□バックヤードツアー

日 時:5月19日(日)、26日(日) 13:00~14:00

参加者:一般30人

場 所:バックヤード

□アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ

日 時:5月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)

①11:30~12:00 ②13:00~13:30

参加者:未就学児と保護者79人

□その他

・アジアギャラリー観覧料無料

・参加館を巡るスタンプラリー



バックヤードツアー

2 花の祭典 Fukuoka Flower Show Pre-Event

2026年に福岡市で開催する花の祭典のプレ・イベントとして、親子向けのワークショップを開催した。

□ワークショップ

「みんなで装飾して、オリジナル・花リキシャを作ろう!」

日 時 2025年3月23日(日)

①10:30~12:30 ②14:00~16:00

参加者:①14人、②9人

会 場:アートカフェ

企 画:李昭賢



花リキシャワークショップ

ボランティア事業

7つのグループに分かれて活動をおこなった。前年度末に第6期ボランティアを募集し、105人の応募があった。応募者は、4月から4カ月間にわたって養成研修を8回受講し、6回以上の出席を経て、9月にボランティアとして新規登録した。案内・解説ボランティアを対象にした「対話型鑑賞ファシリテーター・スキルアップ研修」、「きく力」研修をおこない、案内・解説、読み聞かせボランティアを対象に「やさしい日本語」の研修をおこなった。

活動内容およびグループ別のべ人数（ひとりが複数のグループで活動可）

2024年10月（登録時）

活動区分	活動内容	現行	新規	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	69	55	124
図書資料	アートカフェの書架整理および蔵書点検	28	21	49
アーカイブ	新聞・雑誌掲載記事のスクラップと整理	45	15	60
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	19	13	32
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	33	23	56
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	15	13	28
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	147	97	244
のべ人数		356	237	593
ボランティア登録者数		147	97	244

2025年3月

活動区分	活動内容	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	107
図書資料	アートカフェの書架整理および蔵書点検	51
アーカイブ	新聞・雑誌掲載記事のスクラップと整理	47
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	28
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	47
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	24
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	237
のべ人数		541
ボランティア登録者数		237

活動

【案内・解説】

いろいろな場面で対話型鑑賞をとり入れよう」を目標に活動をおこなった。福岡市の3館で始まった「対話型アート鑑賞事業」に対応するため、外部講師を招いた研修「対話型鑑賞ファシリテーター・スキルアップ研修」、「きく力」、「やさしい日本語」を受講した。第6期ボランティアは、10月から1月まで実地研修に参加し、2月から活動に加わった。

【図書資料】

「ベストコレクションⅡ」展に合わせた本の紹介を行い、アートカフェに展示する」、「目の行き届いたアートカフェを目指して書架整理をする」、「グループ内での本の紹介を行い、研鑽を深める」を目標に活動をおこなった。「ベストコレクションⅡ」展にあわせて、おすすめ本の紹介をおこなった。アートカフェの書架のレイアウトを変更し、あらたなレイアウトに合わせて書架整理、面陳書架の入れ替え、蔵書点検などをおこなった。

【アーカイブ】

「新しいマニュアルを使いやすいものにしよう。月2回以上、活動に参加しよう」を目標に、新聞、雑誌のスクラップとスキャニング、ファイリングなどをおこなった。新規ボランティアを迎えるにあたって環境づくりについて話し合い、マニュアルの見直しなどを行った。

【広報】

「あじびニュースの配布先の開拓とアジ美の展示品や特徴を広める活動をする」を目標に活動した。公民館、商店街、ホテルなどに展覧会のチラシを配布する活動を再開。「エルマーの冒険展」、「アジアン・ポップ」展、「ベストコレクションⅡ」展、「あじびニュース」等の発送活動をおこなった。

【読み聞かせ】

昨年と同じく「絵本を通してアジアをもっと知ろう」を目標に活動した。アジアギャラリーの展示を皆で観る機会を作り、展覧会とリンクした選本をおこなって読み聞かせの中で展覧会のお知らせができるよう取り組んだ。ミーティング終了時に有志による研修もおこなった。アジアの言語と日本語による絵本と紙芝居の読み聞かせ「絵本でアジアを旅しよう」を年間4回(中国、ベトナム、インド、モンゴル)実施。案内・解説ボランティアと合同で研修「やさしい日本語」に参加した。

【交流】

第1期レジデンスプログラムで安田葉のインスタレーション作品の制作(風制作)、レガ・アユンディア・ブトゥリに不要な家電の提供、10月におこなわれた「博多リバレイン灯明」で杉原信幸、中村綾花のデザインによる地上絵の灯明設置と撤収などをおこなった。

【活動支援】

「ボランティアをつなぐー新メンバーの活動開始にあわせて催事を企画しよう」を目標に活動した。第6期ボランティアの活動開始に合わせて各グループに活動の様子をブログでレポートしてもらったり、グループをこえて全員が参加できるような研修会を実施するなど、ボランティア同士の交流を促すような企画をおこなった。

《活動支援主催によるボランティア催事》

◇連絡当番ミーティング

2024年5月18日、8月17日、11月30日、2025年2月15日

◇レジデンス歓迎会・交流会

2024年8月3日 第Ⅰ期レジデンス歓迎会(福岡アジア美術館アジアギャラリー、会議室) 10月26日 第Ⅱ期レジデンス歓迎会(福岡アジア美術館アジアギャラリー、会議室)

◇ボランティア交流会

2025年3月19日(福岡アジア美術館アートカフェ)

当初、2月5日に計画していたが、寒波による雪の影響で3月に延期となった。冒頭で図書ボランティアが活動紹介を行った。

◇ボランティア研修会

2024年11月30日(福岡アジア美術館交流スタジオ)

「バングラデシュの一夜かぎりの壁画描き」

(講師:五十嵐理奈学芸員)

【その他のボランティア催事】

◇ボランティア新規募集

募集期間:2024年2月1日～3月20日

募集人数:120人(案内・解説ボランティア50人、図書資料10人、アーカイブ10人、広報15人、読み聞かせ15人、活動支援10人)

研修スケジュール:

2024年4～7月 養成研修(第2・第4 火・土)

8月 面談

9月21日 認定式

10月 活動開始

11月～2025年1月 案内・解説グループ 実地研修

2月～3月 試行期間

4月 案内デビュー



第6期ボランティア養成研修



ボランティア認定式



対話型鑑賞スキルアップ研修
(案内・解説)



「やさしい日本語」研修

あじびニュース



Vol.93 2024.4.1発行

- 福岡アジア美術館開館25周年記念コレクション展「アジアン・ポップ」
- 第21回アーティスト・イン・レジデンスの成果展「都市の現象学」
- 2024年度 展覧会スケジュール
- ヘリ・ドノ(インドネシア)、スペシャルインタビュー



Vol.94 2024.8.9発行

- 福岡アジア美術館開館25周年記念「ベストコレクションII ーしなやかな抵抗」
- AJIBI Discuss あじびのことを話そう
- アジアギャラリー 2024年度9月～12月 コレクション展ラインナップ
- Artist in Residence 2024 第1期アーティスト
- 福岡アジア美術館の「アーティスト・イン・レジデンス」事業その背景には



Vol.95 2024.12.1発行

- Artist in Residence 2024 第2期アーティスト
- AJIBI Discuss あじびのことを話そう
- アジアギャラリー2024年12月～2025年4月の展覧会スケジュール
- 遊び方いろいろ「福岡アジア美術館」の魅力と学芸員によるおすすめ

Vol.93

規 格 A4変形 見開き8ページ 企画・編集・発行 福岡アジア美術館 編集・執筆 木下貴子(CXB)
デザイン 長末香織 印刷 株式会社四ヶ所

Vol.94

規 格 A4変形 見開き8ページ 企画・編集・発行 福岡アジア美術館 編集・執筆 後藤麻与、片桐絵都
デザイン 吉田朋史、桐原玲奈[9P] 印刷 株式会社四ヶ所

Vol.95

規 格 A4変形 見開き8ページ 企画・編集・発行 福岡アジア美術館 編集・執筆 後藤麻与、片桐絵都
デザイン 吉田朋史[9P] 印刷 株式会社四ヶ所

ホームページ

<https://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

年度PV数/約160万人

年度ユーザー数/53万7千人

コンテンツ

展覧会/最新の展覧会、開催予定の展覧会、過去の展覧会、バーチャルミュージアム

イベント/最新のイベント、開催予定のイベント、過去のイベントレジデンス/アーティスト・研究者リスト、募集要項、報告書

コレクション/アジアコレクション100、収集方針、収蔵品作品資料室/アジア美術資料室、蔵書検索

来館案内/利用案内、アクセス、館内マップ、アートカフェ&ショップ、キッズコーナー、団体申込案内、スクールプログラム、施設貸出

当館について/基本理念、活動案内、施設概要、アジア美術館の歩み、刊行物、ふくおか応援寄付、ボランティア、あじびの楽しみ方

主要SNSアカウントインサイト (令和6年度末時点)

Facebook

<https://www.facebook.com/fukuokaasianartmuseum/>

累計5,198フォロワー/年間リーチ数:376,322(人)

X(旧Twitter)

<https://twitter.com/faamajibi>

Instagram

https://www.instagram.com/fukuoka_asian_art_museum/

累計10,507フォロワー/年間リーチ数:250,941(人)

The background of the entire page is a dense, abstract composition of thick, expressive brushstrokes. The colors are primarily various shades of green, ranging from a deep forest green to a bright, almost neon lime green. Interspersed among these are strokes of a vibrant yellow and some lighter, pale green. The strokes are oriented in various directions, creating a sense of dynamic movement and texture. Some strokes are straight and diagonal, while others are more curved and fluid. The overall effect is a rich, layered visual field that suggests organic forms like leaves or branches.

所 藏 作 品

新所蔵作品数 令和6年度

	購入	寄贈	合計
絵画	3	21	24
彫刻	1	1	2
版画	0	176	176
写真	3	0	3
研究資料	0	18	18
合計	7	216	223

※作品データは、以下の順で記載
作家名(拠点)
タイトル
制作年
ジャンル 素材
サイズ(cm)

新所蔵作品一覧

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1 ホアン・ヨンビン(黄永砅)(中国)
駱駝
2012年
立体/剥製標本、ラグ、針、コード
162.6×299.7×66 | 9 ムルヤナ(インドネシア)
サガラ
2022年
立体/アップサイクル毛糸、アクリル
毛糸、金属、再利用プラスチック、
カンバス布、充填材、ビデオ(2分51秒)
400×700×230 | 17 作者不詳(バトナー派)(インド)
染色職人
19世紀中頃
平面/水彩・紙
18×14.2 | 25 作者不詳(インド)
象かごでの移動
19世紀中頃
平面/水彩・雲母
14×9.7 |
| 2 ゴック・ナウ(ベトナム)
静夜一月曜日
2021年
平面/アクリルシートに印刷された写
真、木、ライトボックス
130×50×2.8 | 10 作者不詳(インド)
クールマ
19世紀中頃
平面/水彩・紙
27.5×19.8 | 18 作者不詳(バトナー派)(インド)
魚をさばく女性
19世紀中頃
平面/水彩・紙
17.8×14.2 | 26 作者不詳(インド)
強盗団の手口
19世紀中頃
平面/水彩・雲母、紙
12×17 |
| 3 ヴォー・アン・カイン(ベトナム)
軍属移動診療所 1970年9月
1970/2010年
写真/インクジェットプリント
59×40 | 11 作者不詳(インド)
ラーマ
19世紀中頃
平面/水彩・紙
20.4×15.6 | 19 作者不詳(バトナー派)(インド)
化粧道具を売る男
19世紀中頃
平面/水彩・紙
18.8×14.2 | 27 作者不詳(インド)
マイソールの王族たちの外出
19世紀中頃
平面/水彩・雲母、紙
12×17.4 |
| 4 ヴォー・アン・カイン(ベトナム)
政治学の課外授業 1972年7月
1972/2010年
写真/インクジェットプリント
56×40 | 12 作者不詳(インド)
男性貴族像
19世紀中頃
平面/水彩・紙
20.2×15.5 | 20 作者不詳(バトナー派)(インド)
綿を打ち直す男
19世紀中頃
平面/水彩・紙
18.8×14.4 | 28 作者不詳(インド)
インドの学校
19世紀中頃
平面/水彩・雲母、紙
12×17.1 |
| 5 ハン・ティ・ファム(ベトナム)
自画像・ロングヘア・パイプ
1985年
写真/ゼラチン・シルバー・プリント
101.2×75.7 | 13 作者不詳(インド)
ヴァラーハ
19世紀中頃
平面/水彩・紙
42.5×32.2 | 21 作者不詳(インド)
曲芸師たち
19世紀中頃
平面/水彩・雲母
9.7×14.2 | 29 作家不詳(インド)
スラージ・ウッダウラ
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×38.5 |
| 6 トゥシャルル・ワイエダ、マユー
ル・ワイエダ(インド)
知の種
2024年
平面/ポスターカラー、牛糞・画布
90×120 | 14 作者不詳(バトナー派)(インド)
シヴァ信仰の修行者
1827年
平面/水彩・紙
22.5×15 | 22 作者不詳(インド)
駕籠の行列
19世紀中頃
平面/水彩・雲母
9.8×14.2 | 30 作家不詳(インド)
ジャハーンギール
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×37.5 |
| 7 チェン・チェンポー(陳澄波)
(台湾)
緑のカーテンの裸婦
不詳
平面/油彩・画布
72×60 | 15 作者不詳(バトナー派)(インド)
孔雀の羽根を持つ女性
19世紀中頃
平面/水彩・紙
18.1×14.2 | 23 作者不詳(インド)
蛇使いたち
19世紀中頃
平面/水彩・雲母
9.9×14 | 31 作家不詳(インド)
ハイダル・アリー
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×38 |
| 8 パン・ジョンア(韓国)
「こうやって生きていきます」下絵
2007年
平面/インク・紙
27×39 | 16 作者不詳(バトナー派)(インド)
西洋の傘をさすインドの女性
19世紀中頃
平面/水彩・紙
18×14 | 24 作者不詳(インド)
太鼓をたたき踊る男たち
19世紀中頃
平面/水彩・雲母
9.4×13.1 | 32 作家不詳(インド)
ティムール
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50.2×37.8 |



ホアン・ヨンビン(黄永砵)(中国)
《駱駝》
2012年



ヴォー・アン・カイン(ベトナム)
《政治学の課外授業 1972年7月》
1972/2010年

33 作家不詳(インド)
ヌール・ジャハーン
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×37.8

34 作家不詳(インド)
マハーダーギー・シンディア
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
48.9×36.2

35 作家不詳(インド)
ハイドル・アリー
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×37.8

36 作家不詳(インド)
シュジャー・シャー
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×37.5

37 作家不詳(インド)
ナーディル・シャー
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50.1×38

38 作家不詳(インド)
ティブー・スルターン
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×37.5

39 作家不詳(インド)
バージー・ブラブ・デシュバンデ
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×38

40 作家不詳(インド)
マリク・アンバル
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50.2×37.9

41 作家不詳(インド)
チャトラパティ・シャーフー・マハ
ラージ
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50.1×37.6

42 作家不詳(インド)
シャー・ジャハーン
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×37.7

43 作家不詳(インド)
フマユーン
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×38

44 作家不詳(インド)
ザハラム・バブー
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×37.6

45 作家不詳(インド)
シュリマント・サワーイー・マー
ダヴラー・オ・ペーシュワー
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×38

46 作家不詳(インド)
ミール・ミラン
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50.1×38.1

47 作家不詳(インド)
アフザル・カーン
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×38

48 作家不詳(インド)
シャー・アールム2世
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50.5×38

49 作家不詳(インド)
チャンド・ビビ
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
49.8×37.6

50 作家不詳(インド)
シュリー・サダーシヴラー・オ・パーウ
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×37.5

51 作家不詳(インド)
バブー・ゴーカーレー
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×38

52 作家不詳(インド)
ターラー・バーイー
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50×37.4

53 作家不詳(インド)
シュリー・チャトラパティ・
シヴァージー・マハラージ
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
50.5×38.6

54 作家不詳(インド)
ヴィシュワナート・ナラヤン・
マンドリク
19世紀末～20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
51×39.3

55 作家不詳(インド)
虎
20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
38×50.8

56 作家不詳(インド)
ライオン
20世紀初頭
版画/リトグラフ・紙
38×50.8

57 作者不詳(インド)
スバドラーの略奪
20世紀前半
版画/リトグラフ・紙
38.5×18.5

58 作者不詳(インド)
シャニ・マハトマヤ(ヴィクラマー
ディティヤ王の物語)
1910年代
版画/リトグラフ・紙
35.5×25.3

59 作者不詳(インド)
シヴァー家と諸神
1910年代
版画/リトグラフ・紙
24.7×17

60 作者不詳(インド)
ラクシュミーとガネーシャ
20世紀前半
版画/リトグラフ・紙
34.7×25.4

61 作者不詳(インド)
ジャガンナート寺院
20世紀前半
版画/リトグラフ・紙
18.3×12.7

62 作者不詳(インド)
ジャガンナート、バララマ
スバドラー
20世紀前半
版画/リトグラフ・紙
18.1×12.6

63 作者不詳(インド)
カーリー
20世紀前半
版画/リトグラフ・紙
18.3×12.6

64 L. M. タコール(インド)
シヴァ、パールヴァティ、
ガネーシャ
20世紀中頃
版画/オフセット・紙
46×32

65	作者不詳(インド) 薬草の山を運ぶハヌマーン 20世紀中頃 版画/オフセット・紙 50.7×35.5	79	作者不詳(インド) インド大衆宗教画の商品見本 20世紀末 版画/オフセット・紙 34.3×23.8	94	作者不詳(インド) シャクンタラー(版下7) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 19.2×14	109	作者不詳(インド) 公衆衛生 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 36.5×24
66	作者不詳(インド) 薬草の山を運ぶハヌマーン 20世紀中頃 版画/オフセット・紙 51×35.4	80	作者不詳(インド) インド大衆宗教画の商品見本 20世紀末 版画/オフセット・紙 34.3×23.8	95	作者不詳(インド) シャクンタラー(版下8) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 19.5×13	110	作者不詳(インド) 応急手当 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 35.8×23.2
67	作者不詳(インド) シェーシャの上に横たわる ヴィシュヌ 20世紀末 版画/オフセット・紙 37.2×49.6	81	作者不詳(インド) インド大衆宗教画の商品見本 20世紀末 版画/オフセット・紙 34.3×23.8	96	作者不詳(インド) ガジャ・ラクシュミー(版下1) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 13×17.6	111	作者不詳(インド) 自治体の仕事 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 37.1×24.8
68	V. クリシュナムルティ(インド) シヴァとサティー 20世紀末 版画/オフセット・紙 44.6×30.3	82	作者不詳(インド) ガネーシャ 20世紀中頃 版画/リトグラフ・紙 18.2×12.2	97	作者不詳(インド) ガジャ・ラクシュミー(版下2) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 12.4×17.5	112	作者不詳(インド) 郵便・電信サービス 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 36.1×23.4
69	作者不詳(インド) シヴァリングに横たわる息子の ガネーシャ 20世紀末 版画/オフセット・紙 43.4×30.6	83	作者不詳(インド) ガネーシャ(版下) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 17.7×12.6	98	作者不詳(インド) ガジャ・ラクシュミー(版下3) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 12.4×17.6	113	作者不詳(インド) 助けになる人たち 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 37×23.1
70	作者不詳(インド) カーリー 20世紀末 版画/オフセット・紙 44×30.3	84	作者不詳(インド) ジヴァティの物語 20世紀中頃 版画/リトグラフ・紙 19.2×13.8	99	作者不詳(インド) ガジャ・ラクシュミー(版下4) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 12.4×17.5	114	作者不詳(インド) 女性の仕事 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 37.5×24.8
71	V. クリシュナムルティ(インド) 5つの顔のハヌマーン 20世紀末 版画/オフセット・紙 42.5×30	85	作者不詳(インド) ジヴァティの物語(版下1) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 19.8×18.8	100	作者不詳(インド) ガジャ・ラクシュミー(版下5) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 12.1×17.6	115	作者不詳(インド) スポーツ 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 37×23.7
72	スタジオ・ナテカル(インド) シヴァとガネーシャ 20世紀末 版画/オフセット・紙 41.3×29.6	86	作者不詳(インド) ジヴァティの物語(版下2) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 19.3×13.7	101	作者不詳(インド) ジヴァティの物語(版下4) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 19.5×13.6	116	作者不詳(インド) ムガール時代 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 36×23.8
73	作者不詳(インド) 聖者ラヴィダス 20世紀末 版画/オフセット・紙 41.6×29.9	87	作者不詳(インド) ジヴァティの物語(版下3) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 20.2×14.2	102	作者不詳(インド) インド教育用絵図集(105図版) 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 39×26	117	作者不詳(インド) ヒンドゥー時代 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 36.4×24.4
74	作者不詳(インド) 聖者ラヴィダス 20世紀末 版画/オフセット・紙 43.6×30	88	作者不詳(インド) シャクンタラー(版下1) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 18.5×14.4	103	作者不詳(インド) アホイ・アシュタミ祭 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 44.3×31	118	作者不詳(インド) シク教の聖人 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 56×24.5
75	作者不詳(インド) ナーラーヤナに帰依する(蛇と はしごの双六) 21世紀初頭 版画/オフセット・紙 57.8×44	89	作者不詳(インド) シャクンタラー(版下2) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 18.5×14.4	104	作者不詳(インド) ヒンディー文字 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 37.7×24.2	119	作者不詳(インド) 英領時代 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 36.1×24
76	作者不詳(インド) パラマパダ・ソバナム(蛇とはしご の双六) 20世紀末 版画/木版・紙 56×40.5	90	作者不詳(インド) シャクンタラー(版下3) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 16.6×12	105	作者不詳(インド) 私たちの家 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 24.7×36.3	120	作者不詳(インド) 耕作方法 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 37.5×24.2
77	作者不詳(インド) ヴァラーナシー(カシ)の地図 1970年代 版画/リトグラフ・紙 51×75.9	91	作者不詳(インド) シャクンタラー(版下4) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 18.8×14.8	106	作者不詳(インド) 家庭の科学—料理と調理器具 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 25.3×37.6	121	作者不詳(インド) 水源 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 36.1×23.2
78	作者不詳(インド) 108のヴィシュヌ寺院 21世紀初頭 版画/オフセット・紙 28.6×40.6	92	作者不詳(インド) シャクンタラー(版下5) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 19.8×14.4	107	作者不詳(インド) インド地図 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 21.5×28	122	作者不詳(インド) 郵便・電信サービス 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 37×24.2
		93	作者不詳(インド) シャクンタラー(版下6) 20世紀中頃 研究資料/インク・紙 17×11.9	108	作者不詳(インド) 家族 20世紀末 版画/リトグラフ・紙 36×24	123	作者不詳(インド) 女性と薬 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 26.9×20.4

124	作者不詳(ドイツ・インド) 女性とバラと香水 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 25×34.4	139	作者不詳(インド) クリシュナ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 12.7×8.9	154	作者不詳(インド) ダットアートレーヤ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 10.2×8.4	169	作者不詳(日本・インド) 駕籠にのる男性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15.2×15.2
125	作者不詳(インド) 月に腰掛けるクリシュナとラーダー 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 8.9×21.5	140	作者不詳(インド) ダットアートレーヤ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 17.8×12.4	155	作者不詳(インド) 龍の頭の上で踊るクリシュナ 20世紀初頭 版画/リトグラフ・紙 8.9×21.6	170	作者不詳(日本・インド) 駕籠にのる男性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15.1×15.1
126	作者不詳(インド) バラを持つ女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 8.7×20.6	141	作者不詳(インド) 花と女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 14.9×3.3	156	作者不詳(日本・インド) 頭につぼをのせた女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 21.4×16.3	171	作者不詳(日本・インド) インド女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 17.9×12.8
127	作者不詳(インド) 龍の頭の上で踊るクリシュナ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 8.8×20.6	142	作者不詳(インド) クリシュナの愛の踊り(ラース・ リーラー) 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 17×8.6	157	作者不詳(日本・インド) 女性像 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 12.5×9.1	172	作者不詳(日本・インド) 黄金のつぼ 1955年頃 版画/リトグラフ・紙 15.6×13.3
128	作者不詳(インド) 祈る女性 1914-15年 版画/リトグラフ・紙 25.8×19.3	143	作者不詳(インド) エジソン・ティー 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 3.2×3.1	158	作者不詳(日本・インド) 電話 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 13×9.2	173	作者不詳(日本・インド) 蝶と薔薇 1955年頃 版画/リトグラフ・紙 11.9×15.2
129	作者不詳(インド) ヴィシュヌ、ガルダ、ハヌマーン 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 14.7×14.7(直径)	144	作者不詳(インド) バラを持つ女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 11×20	159	作者不詳(日本・インド) はさみ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 10×13.9	174	作者不詳(インド) 木箱と鷲の紋章 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 18.7×14.8
130	作家不詳(インド) シタールを奏でる女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15.5(直径)	145	作者不詳(インド) シェーシャに座るクリシュナ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 17.6×13.5	160	作者不詳(日本・インド) ライオンと地球に乗る女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15×9.8	175	作者不詳(インド) 黄金の鳥 1955年頃 版画/リトグラフ・紙 15.8×13.2
131	作者不詳(インド) 鶴と富士山 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 13.7(直径)	146	作者不詳(インド) ダットアートレーヤ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 16×12.1	161	作者不詳(日本・インド) 地球に乗るライオン 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 14.7×9.8	176	作者不詳(日本・インド) インド国民会議派の旗と富士山 1920年代 版画/リトグラフ・紙 12.3×16.3
132	作家不詳(インド) クリシュナの愛の踊り(ラース・ リーラー) 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 14.3(直径)	147	作者不詳(インド) シタールを奏でる女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15.3×11.5	162	作者不詳(日本・インド) ライオンと地球に乗る女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 7.1×10.7	177	作者不詳(アメリカ・インド) 赤いサリーの女性 1905年 版画/リトグラフ・紙 15.9×21.6
133	作家不詳(インド) 窓辺で鳥とたわむれる女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15.6(直径)	148	作者不詳(インド) シタールを奏でる女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15.3×11.5	163	作者不詳(日本・インド) 象と街並み 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 12.3×8.9	178	作者不詳(日本・インド) 美の女王 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15.3×9.4
134	作者不詳(ドイツ・インド) ガンガー 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 11.4×8.7	149	作者不詳(インド) ブラフマー 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 12×8.5	164	作者不詳(日本・インド) 時計と松 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 9.8×7.2	179	作者不詳(日本・インド) 蝶と薔薇 1955年頃 版画/リトグラフ・紙 11.8×15.4
135	作者不詳(インド) ダットアートレーヤ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 13.2×10.8	150	作者不詳(インド) シェーシャの上に横たわる ヴィシュヌ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 11.5×8.5	165	作者不詳(インド) つばに片足をかける女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 19.2×15.9	180	作者不詳(インド・日本) マハラジャビールのラベル 1997年頃 版画/オフセット・紙 8.5×6.5
136	作者不詳(インド) シタールを奏でる女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15.5(直径)	151	作者不詳(インド) インド国旗を持つドゥルガー 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 12×9.3	166	作者不詳(日本・インド) 美の女王 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15.3×9.5	181	作者不詳(インド) 太守と愛妾 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 26.8×13.7
137	作者不詳(インド) ドゥルガー 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 14.8(直径)	152	作者不詳(インド) 祈る女性 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 16.4×10.6	167	作者不詳(日本・インド) 白布を持つ女神 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15×11.6	182	作者不詳(インド) シェーシャに座るクリシュナ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 25.6×21.9
138	作家不詳(インド) 太陽 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 15.7×11.9	153	作者不詳(インド) ダットアートレーヤ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 18.5×13	168	作者不詳(日本・インド) ランカ島と女性 1950-60年代 版画/リトグラフ・紙 17.9×12.8	183	作者不詳(インド) クリシュナのいたすらを ヤショードーに告げる 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 20.2×15.1

184	作者不詳(インド) 神々を宿す牝牛 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 19.5×21.7	197	リービッツ社 (イギリス・ドイツ) インドの民俗風習:踊り子 1905年 版画/リトグラフ・紙 7.1×10.2	208	リービッツ社 (イギリス・イタリア) マハーバーラタ: 3.クルの戦争評議会 1931年 版画/リトグラフ・紙 7×11	222	作者不詳(インド) ライオンを従える女性 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 29.7×16.6
185	作者不詳(インド) カーリヤの上で踊るクリシュナ 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 17.7×13.4	198	リービッツ社 (イギリス・ドイツ) インドの民俗風習:民衆の遊び 1905年 版画/リトグラフ・紙 7.2×10.2	209	リービッツ社 (イギリス・イタリア) マハーバーラタ: 4.戦場の兄弟(クルクシェートラの戦い) 1931年 版画/リトグラフ・紙 7×11	223	作者不詳(インド) オウムと若い女性 19世紀末~20世紀初頭 平面/顔料・ガラス 27.2×22.3
186	作者不詳(インド) クリシュナの一行 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 18.8×16.3	199	リービッツ社 (イギリス・ドイツ) インドの民俗風習:おとぎ話の語り手 1905年 版画/リトグラフ・紙 7.2×10.3	210	リービッツ社 (イギリス・イタリア) マハーバーラタ: 5.ドゥリタラシュートラの嘆き 1931年 版画/リトグラフ・紙 7×11		
187	作者不詳(インド) 木につかまる男と見守るラクシュミ(マハーバーラタより) 20世紀前半 版画/リトグラフ・紙 16.8×19.3	200	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥー建築のモニュメント: 1.コンダナのヒンドゥー寺院、 チャイティヤ 1930年 版画/リトグラフ・紙 7×11	211	リービッツ社 (イギリス・イタリア) マハーバーラタ: 6.ガンジス川への巡礼 1931年 版画/リトグラフ・紙 7×11		
188	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥースタンの民の典型: 学校 1901年 版画/リトグラフ・紙 7.2×10.3	201	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥー建築のモニュメント: 2.マハーバリプラムの5つのドラ ヴィダ建築寺院 1930年 版画/リトグラフ・紙 7×11	212	作者不詳(日本・インド) マツヤ 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 5.5×3.5		
189	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥースタンの民の典型: 王子と護衛 1901年 版画/リトグラフ・紙 7.3×10.2	202	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥー建築のモニュメント: 3.ボンベイ近郊のエレファンタ地下寺院 1930年 版画/リトグラフ・紙 7.5×11	213	作者不詳(日本・インド) ナンディンにまたがるシヴァ 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 4.9×3.6		
190	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥースタンの民の典型: 蛇使い 1901年 版画/リトグラフ・紙 7.2×10.2	203	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥー建築のモニュメント: 4.パダミのシヴァ寺院 1930年 版画/リトグラフ・紙 7×11	214	作者不詳(日本・インド) 馬にまたがる兵士 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 4.9×3.6		
191	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥースタンの民の典型: 大道芸人 1901年 版画/リトグラフ・紙 7.2×10.2	204	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥー建築のモニュメント ー5.カーンチープラムの主要 寺院、カイラサナサー 1930年 版画/リトグラフ・紙 7×11	215	作者不詳(日本・インド・中国) 幼児クリシュナほか(17図版) 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 19.5×13.5		
192	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥースタンの民の典型: 托鉢僧 1901年 版画/リトグラフ・紙 7.3×10.2	205	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥー建築のモニュメント: 6.アジャンター石窟寺院の正面 1930年 版画/リトグラフ・紙 7×11	216	作者不詳(日本・インド・中国) クリシュナの戯れほか(14図版) 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 19.5×13.8		
193	リービッツ社 (イギリス・フランス) ヒンドゥースタンの民の典型: 武器屋 1901年 版画/リトグラフ・紙 7.4×10.2	206	リービッツ社 (イギリス・イタリア) マハーバーラタ: 1.ドラウバ ディーの結婚 1931年 版画/リトグラフ・紙 7×11	217	作者不詳(スウェーデン・インド) ラージャー・スタンボエル 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 5.1×3.5		
194	リービッツ社 (イギリス・ドイツ) インドの民俗風習: トラバンコール の山での悪魔のダンス 1905年 版画/リトグラフ・紙 7.2×10.2	207	リービッツ社 (イギリス・イタリア) マハーバーラタ: 2.奇跡の鍋 (アクシャヤ・パトラ) 1931年 版画/リトグラフ・紙 7×11	218	作者不詳(スウェーデン・インド) ラージャー・スタンボエル 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 4.4×3.1		
195	リービッツ社 (イギリス・ドイツ) インドの民俗風習: 王の歓迎 1905年 版画/リトグラフ・紙 7.2×10.2			219	作者不詳(スウェーデン・インド) アリババ 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 4.4×3.1		
196	リービッツ社 (イギリス・ドイツ) インドの民俗風習: 犠牲の日 1905年 版画/リトグラフ・紙 7.1×10.2			220	作者不詳(スウェーデン・インド) アリババ 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 5.6×3.6		
				221	作者不詳(インド) 地球と女性 20世紀初頭 版画/電胎凸版刷・紙 28.8×17		

所蔵作品

2 貸出一覧

※2024年4月以降

貸 出 先:M+(香港)

展覧会名:Mapping the South: Journeys through Vessels

展示期間:2024年7月23日(火)～12月29日(日)

作品点数:1点

	作者	作品名
1	ヤスミン・コビール	葬儀

貸 出 先:福岡アジアフィルムフェスティバル実行委員会

展覧会名:福岡アジアフィルムフェスティバル2024

展示期間:2024年10月3日(木)～10月6日(日)

作品点数:5点

	作者	作品名
1	チュンリン・ジョリー・モク	店を見る
2	ムン・キョンウォン	Stop it!
3	ブッティボン・アルーンペン	みんな知り合い
4	ワース	春のティータイム
5	ティーモーナイン	ページをめくる間に

作者	作品名
1 ダダン・クリスタント	官僚主義
2 ライオネル・ウェント	若さ/メゾフォルテ
3 ライオネル・ウェント	題不詳(少年と椰子の葉)
4 ライオネル・ウェント	少年と波(連作より)
5 ライオネル・ウェント	シンハラ人漁師のトルソ
6 ライオネル・ウェント	題不詳(柵、鳥、門のある海景)
7 ライオネル・ウェント	題不詳(天日干しの陶器Ⅲ)
8 ライオネル・ウェント	題不詳(黒のヴェッティをまとう男のヌード)
9 ライオネル・ウェント	題不詳(カーソン社の広告 Ⅱ)
10 ライオネル・ウェント	題不詳(ベランダからの眺め)
11 ライオネル・ウェント	題不詳(男のヌードと本)
12 ライオネル・ウェント	南に向かう独身者
13 タ・ティ	(男性像)
14 ツェン・クォンチ(曾広智)	遠征する自画像シリーズ:カナダ(レイク・ルイーズ湖)
15 ウィット・アビチャートクリアンクライ	ある体験 2
16 パンヤー・ウィチンタナサーン	僧侶
17 タ・ティ	曲線
18 吳天章	春宵夢Ⅳ

観覧者数

年度別観覧者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
平成10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
23年度	311	62,267	57,101	150,081	269,449	866
24年度	313	66,876	54,893	188,001	309,770	990
25年度	311	54,509	204,388	84,587	343,484	1,104
26年度	288	39,412	61,915	141,305	242,632	842
27年度	311	49,477	54,117	186,158	289,752	932
28年度	311	65,061	49,082	137,182	251,325	808
29年度	313	66,383	62,999	183,358	312,740	999
30年度	312	56,467	64,460	160,262	281,189	901
令和元年度(※1)	293	29,284	62,362	120,444	212,090	724
2年度(※1)	265	14,848	0	61,541	76,389	288
3年度(※1)	244	32,129	25,765	68,970	126,864	520
4年度	313	56,480	47,475	252,988	356,943	1,140
5年度	315	62,068	145,075	79,096	286,239	909
6年度	313	80,706	25,773	122,339	228,818	731
累計	7,811	1,281,804	1,992,486	3,066,428	6,340,718	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により下記期間臨時休館
R元年度:2/27~3/20、R2年度:4/4~5/18、R3年度:5/12~6/20、8/9~9/13

月別観覧者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	12,891	17,928	16,816	20,807	33,199	24,742	25,428	17,524	12,706	21,053	11,964	13,760	228,818

あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	9	6	10	5	11	6	12	7	9	2	5	8	90
人数	772	542	801	292	663	391	1,207	545	738	66	288	620	6,925

あじびホール年度別使用状況

年度別	件数	人数
平成10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
23年度	119	12,750
24年度	148	14,069
25年度	134	13,183
26年度	113	9,698
27年度	135	11,361
28年度	135	12,874
29年度	153	13,835
30年度	149	15,415
令和元年度	154	13,068
2年度	79	4,031
3年度	80	4,842
4年度	144	8,193
5年度	102	7,281
6年度	90	6,925
累計	2,914	260,351

あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	4	489
セミナー	11	578
アーティストトーク	4	279
ワークショップ	2	280
映画	20	1,816
演劇	2	181
音楽	9	630
落語	10	824
漫才	1	100
展示	4	246
ボランティア	8	384
その他	15	1,118
合計	90	6,925

常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	1日平均	有 料 観 覧 者 数				無料 観覧者数
					一般	高・大	小・中	計	
常設展	4/1-9、4/20-9/3、 9/14-3/31	302	80,706	267	69,443	6,189	0	75,632	5,074
特別企画展 おいでよ!夏の美術館 vol.1 エルマーのぼうけん展	7月16日-8月25日	41	25,773	629	14,539	1,229	3,577	19,345	6,428

貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第13回躍動する現代作家展	4/4～4/9	6	1,565	オールジャンルの作品が一堂に会する展覧会として日本国内は基より海外でも活動しているアーティストが多数参加する展覧会
アートスタジオアライヴ鉛筆画教室100人展	4/11～4/16	6	1,314	鉛筆画教室の生徒80名と講師による作品の発表会で、鉛筆画作品を約300点程展示するもので、サイズはSMサイズ～30号まで
坂本かな個展	4/11～4/16	6	727	水彩、パステル画 30点の個展
インターナショナルアーティスト佐伯和子の絵画&オリジナルジュエリー展	4/18～4/23	6	1,130	インターナショナルアーティスト佐伯和子の絵画&オリジナルジュエリーなどを一同に集め展示、各種受賞作品の紹介など
谷川俊太郎 絵本★百貨展	4/27～6/16	51	12,698	詩人の谷川俊太郎が絵描きや写真家と作ってきた絵本、ことばあそび、ナンセンスの楽しみ。生きることの面白さや大変さ、尊さ、死や戦争までをテーマに映像、朗読や音、巨大な絵巻や書き下ろしのインスタレーション作品などを展示する
特定非営利活動法人3Knots創立12周年記念事業「創りてたちとの・あ・い・謝恩-」表現者たちの今、そして未来へ	6/20～6/25	6	1,326	創作作品展示を通して、豊かな空間を構築。奥深い表現の世界、魅力をここ福岡、博多から発信し、前進ある表現の世界を体感して頂き未来へ繋がる企画を目指すもの
中国・韓国・日本アート・コスモス現代美術交流展 2024	6/27～7/2	6	941	三国のアーティストが一堂に会し、新世代の芸術力を発掘することや現代芸術の誠実な交流探求を趣旨とし、共感を得ることが出来る展示
中島淳一個展 ラブソディシリーズ	7/4～7/9	6	1,136	中島淳一の新作抽象画、ラブソディシリーズを中心に100号、120号、130号など50点を展示する
エルマーのぼうけん展	7/16～8/25	41	25,773	約130点の美しい絵本原画、ダミー本や「りゅう」の人形を初公開する。エルマーになった気分で、冒険に出發。物語の世界を体験する展覧会。世界中の「ぼうけんの書」を紹介する
カンカク展#2	8/29～9/3	6	1,416	シンジダイラアートをテーマに自然や人工物・具体的なもののや抽象的なもの、感情や距離、すべての作品の中に含まれる作り手のカンカクそのものを幅広く題材とした作品展
ホキ美術館所蔵名品展	9/7～10/13	37	23,804	対象をリアルに描く表現方法の写実絵画。ホキ美術館は世界でもまれな写実絵画を専門とする美術館で、美術館が所蔵するコレクションの中から選りすぐりの人気作品を一堂にご紹介する
「如是我聞」鍾小敏現代アート展（第3回）	10/17～10/22	6	824	歌川広重が創作した「東海道五十三次」の図式を借りて、超現実主義のロマンチックな思考を用いて、この世界へ作家の愛を披露したもの
溪雪 墨の世界展 with students	10/17～10/22	6	1,002	書道と絵のコラボ作品を展示
I make your body (Behind the humanity)	10/17～10/22	6	760	刺繍を体感するような大型のインスタレーション作品、大型のキャンバス作品、映像との組み合わせで鑑賞する流動的な作品など、贅沢な空間を刺繍作品で構成する
ITObA vol.5 -繊維表現といとかさね-	10/24～10/29	6	952	九州を拠点に、各繊維表現の分野にて活動している表現者が、一同に会する企画。博多織、久留米紬、小倉織等
暗晦の燐 × 紫炎の蜚光	10/24～10/29	6	608	モノクロフィルム、自宅暗室での手焼きプリントによる写真群。福岡のキャンドルアーティストとの合同個展。
第23回現美墨象展	10/31～11/5	6	1,287	書を造形芸術の一環として捉え、書の抽象作品「墨象」を発表し続けている本展は、墨による造形は勿論、絵画的な作品や半立体などアートの垣根を超えた作品を展示する
Taro Yakumo Exhibition -improgress	10/31～11/5	6	307	ヤクモタロウの今までの代表的なシリーズ作品を集め、これまでの活動のアーカイブとこれからの進化を示す展覧会
江口寿史展	11/6～1/14	70	23,289	ナンセンスなギャグ漫画からハイセンスなイラストレーションまで、精緻な描線と卓越した構図が織りなす人物画、〈いま〉を生きる現代人のポートレートとして高評価されている江口寿史の大型キャンバス作品や漫画作品の扉絵原画など一堂に展覧
第2回全九州書道展	1/16～1/21	6	1,288	70年の歴史を持つ福岡書道会の書道展。幼年から大人まで、掛軸作品と共に、半紙、硬筆の作品を展示する
中村洋一葦ペン画展 スケッチ40年の回顧展 かつて福岡にあった風景の数々	1/23～1/28	6	1,509	40年間に葦ペンでスケッチしてきた福岡市の風景の数々、今では見られなくなった景観のものを130点余り集めて展示する
第二回中国写真展 光影無界	1/23～1/28	6	889	新鋭派写真家43人の63点の作品を展示する
福岡デザイン専門学校第27回卒業制作展とアジアデザイン交流展	1/30～2/4	6	1,497	福岡デザイン専門学校の第27回卒業制作展。台湾の提携校の作品も同時展示する
坂本かな絵画展	1/30～2/4	6	468	水彩、パステル画 30点の個展
第68回西日本読書感想画コンクール優秀作品展	2/6～2/11	6	1,323	地域の小・中学生、高校生を対象に開催している絵画コンクールで、昭和32年から続いており、全国最長の歴史と、地方開催最大規模を誇るもの
KenDe Works 2024 卒展 (令和6年度卒業設計・制作・修士作品展)	2/6～2/11	6	843	近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科の卒業設計・制作展です。建築設計模型及びパネル、家具等デザイン制作作品及びパネルなど約50点を展示
Junichi Nakashima Exhibition	2/13～2/18	6	967	中島淳一の新作抽象画
Kunihiro Tashiro Exhibition	2/20～2/25	6	839	田代国浩のこれまで作成の各種作品を展示する。油絵、アクリル画、ヌードドローイング、オブジェ、レリーフ、書、スクラップブック、等
北斗の拳 40周年大原画展	3/1～4/6	37	8,762	超名作漫画「北斗の拳」連載開始40周年となる大原画展を開催。ラオウ編までの136話約3,000ページ、珠玉の彩色画の中からの原画を厳選し、「愛」をテーマに、6つの章で、その迫力のストーリーを辿る
合 計		380	119,244	

貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
2024日韓文化芸術作品展	4/4～4/9	6	612	日本と韓国の出展者による螺鈿、陶器、イラスト、3dシャドーボックス、絵画、伝統閩房工芸民俗画などの日韓作品展
第53回春光展(自詠歌書展)	4/11～4/16	6	608	53回を迎える自詠歌を中心とした創作をするもの。作品の大きさは個人で工夫して書いているもの
花と光のフェスティバル 「第26回押花で描く雅の世界」 「おしゃれな手づくりアート展」	4/17～4/23	6	1,242	「押し花」を額装した作品を中心に、「ガラスアート」作品や、「タイルクラフト」作品など全部で6種類のクラフトを展示
第4回西南学院大学同窓生美術展	4/24～4/30	6	791	西南学院大学の卒業生による美術展。多彩なジャンルの作品を一堂に介してお披露目し、学部も年代も様々なOB・OGがアートを通して多様性を紡ぎ出す
川上コレクション展	5/2～5/7	6	456	元宇久画廊運営の川上繁治氏の現在版画コレクションを中心に彫刻、陶磁器などを展示
第6回福岡アジア芸術双年展 写真展中国写真特別展	5/9～5/14	6	528	中国写真家の写真55点を展示する。企画:劉慧昇、キュレーター:高文建、十三言
70、77の出発展	5/16～5/21	6	669	30年あまり洋服作りを主体とした仕事をしてきた、布、モノづくりが大好きな二人の個展
世界を繋ぐパステルアーティスト100人展	5/23～5/28	6	1,142	パステルアートの新たな世界の扉を開ける機会を提供する。100人を超えるアーティストの作品が美術館に集結。パステルという画材を用いた多彩な表現方法で、魅力的なアート作品が一同に会す
今村妙穂喜寿展と仲間たち書展	5/30～6/4	6	436	かな書を中心とし、源氏物語・万葉集・古今和歌集などの細字作品や短冊の集合作品も
無敵の墨	6/6～6/11	6	475	日本の書の美を世界に向けて発信したいとの思いでパリでの個展、昨年の世界水泳でのふれあい書展など書活動を行っている
福岡アジア芸術双年展 景趣怡然 馮景隆水墨芸術展	6/13～6/18	6	425	中国北京出身の書道家画家馮景隆の水墨山水画作品を展示
私の大好きなパターンで作る パッチワークキルト展	6/20～6/25	6	716	パッチワークキルトのタペストリー・ミニタペストリー・バッグ・クッション・ポーチ80点
RURU2024	6/27～7/2	6	705	九州産業大学芸術学部で絵画・染織を学んだメンバーを中心に、幼児からシニアまで異なる世代が集い構成されたグループの平面作品・立体作品等個性豊かな幅広い分野を展示
アジア現代彫刻会四大都市交流展2024	7/4～7/9	6	659	アジア諸国の現代美術家を中心とし、主に金属・木・土・樹脂・紙などの素材を使用した彫刻・立体作品約42点を展示
第2回国際青少年児童書画芸術大会	7/11～7/16	6	567	18歳以下の優秀な青少年芸術家、世界各地の子供たちのために芸術啓蒙と交流創作の舞台を作ることを目的としている展覧会
現代都市の人々	7/18～7/23	6	445	どこまでもシンプルに描き、全体的にグレーを基調としつつ、光と一体となり「静けさ」を表現することを基本として、現実社会においてははえがたい「静けさ」を表現しようとしたものであり、魂の叫びが感じられるもの
第39回福岡市中学校総合文化発表会 美術部作品展	7/25～7/30	6	1,583	福岡市の中学校60校の美術部生徒が「旅」をテーマに制作した合同作品展
Yuko n 紅茶の絵画展	8/1～8/6	6	790	紅茶を使った、セピア色で柔らかな絵やインスタレーション等を計80点展示。テーマはcivilization (文明)
K-アウトサイダーアートがやってきた! 生涯の友だちしょうがい	8/8～8/13	6	674	韓国の自閉症アーティスト13名の作品を集め彼らの創作活動とK-アウトサイダーアートを日本に紹介する展覧会。
「荒視」2024白濁写真アート展	8/15～8/20	6	837	ヨーロッパやアジア多地域で撮れた写真作品。作品約40点。
演作:日韓グラフィックデザインを語る	8/22～8/27	6	454	蔚山大学校(韓)と九州産業大学(日)のビジュアルデザイン学専攻卒業生の作品展示。両大学の卒業生の作品を公開
第21回姚明中国水墨画書道研究会展	8/29～9/3	4	418	水墨画・書道愛好家の相互親睦および発展寄与を目的として設立、今回で第21回を迎え講師および会員が60点を出展
智書展	9/5～9/10	6	794	智書(さとりしょ)師範・生徒さん達による作品展。約140名の想いが込められた作品の数々
松田芙末子アート表装「游心会」作品展	9/12～9/17	6	691	古い着物や帯などで制作した屏風、掛軸、パネル、額装など約100点を展示。福岡県内教室会員による合同作品展。
作品集「鳥獣魚画」出版記念 星先こずえ切り絵展	9/19～9/24	6	1,252	自分で彩色した和紙を使った独特の切り絵作品。鳥、獣、魚、擬人化した猫や、生きているような骨の作品。
松村明写真塾10周年展	9/26～10/1	6	589	10周年を迎えたphoto massage。写真による精神のマッサージを意味し過去10年間の受講者、講師松村明による周年展
小山翔風個展 「半径5キロ圏内」	10/3～10/8	6	637	書道を始めて10年。新たなスタートとして書と墨象作品の展示会「半径5キロ圏内」。墨のみで表現されているのに色を感じ、奥行きや物語を感じる書き下ろし約50点の作品展

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第21回写真展 四季瞬景 日本風景写真協会 福岡第一支部	10/10～10/15	6	924	会員が撮影した四季折々の写真から約60点余りを展示
2024星雲大師一筆字書道展	10/17～10/22	6	377	台湾佛光山開山祖師星雲大師、渾身の一筆文字。目が不自由のため、手を止めることができず、記憶を頼りに一気に書き上げる書
第20回ぶらり草ペンの会作品展	10/24～10/29	6	1,023	草ペンを使って描いた風景画、静物画、人物画など約80点を展示
イメージラボ写真教室 第24回作品展	10/31～11/5	6	827	福岡市と北九州市とで25年続く写真教室。受講生のみなさんの作品、約50点を展示
福岡市退職小学校長会 第47回作品展	11/7～11/12	6	477	工芸(竹細工、切り絵、陶芸、ペーパークラフトetc.)・写真・絵画(水彩画、油絵、中国水墨画 etc.)・書・文学を展示
九産大 進藤研究室写真展「すきま」	11/14～11/19	6	456	すきまとは物と物との間のわずかな空間を意味し、日常生活のわずかな時間、気づきにくい盲点、写真撮影の本質に通じるすきまという言葉が多様なアプローチから展開する120点を展示
台湾・東海大学美術学科修士課程同窓会 絵画学会合同展覧会	11/21～11/26	6	397	台湾の東海大学美術学科修士課程校友会2024年合同展覧会開催。国際都市福岡にて台湾のアーティストの多種多様な表現を楽しめる機会をつくる
九産大 展覧会 「アバター“ル”達の学舎のアバター“ラ”共」	11/28～12/3	6	208	アーティスト泉太郎が十数回に及び実施した講義及びワークショップの発表展。映像制作を学ぶ学生達が普段は手にしない素材や方法に触れ、戸惑いながら味わったプロセスの感動を元に構成
第24回ロータリー・ジュニア美術展	12/19～12/24	6	453	ロータリークラブ主催ジュニア作品の美術展
安藤 麗風 追悼展-なりたい自分に-	1/9～1/14	6	787	67歳の道半ばで人生の幕を閉じた安藤麗風の遺した人生の軌跡や想いを自身の数々の華やかな書で綴った追悼展。
古賀雄大展	1/16～1/21	6	452	日本画の画材を使用し、人間の感情を中心としたテーマで制作。九州産業大学在学中の作品約20点 展示
九州産業大学芸術学部ビジュアルデザイン学科 イラストレーション専攻卒業制作有志展	1/23～1/28	6	560	九州産業大学芸術学部ビジュアルデザイン学科イラストレーション専攻4年生による卒業制作有志展。個性溢れるイラストレーション専攻の展示
令和6年度博多区文化・芸術展	1/30～2/4	6	747	博多区ゆかりの皆さんからの応募作品(絵画・書・写真・グラフィックデザイン)を展示する
PhotoExhibition2025ビジュアルアーツ 卒業制作展	2/6～2/11	6	569	専門学校福岡ビジュアルアーツ・アカデミー写真学科55期生25名の卒業制作写真展。
未来をつくるデザイン展	2/13～2/18	6	434	麻生建築&デザイン専門学校の展示会運営メンバーを中心に、1・2年生を含む計16名の学生が企画から運営までを手掛ける、展示会。学生ならではの自由な発想と、学びの成果を通じ、プロダクトデザインの可能性を体感
第二回アジアの光(亞洲之光)	2/20～2/25	6	657	中国現代アート最先頭トップクラスの芸術家たちの作品を一堂に集めながら日本の芸術家の作品も加えて、現代アートを自分身の周りどう考えるかというもの
瞑想回廊-西国巡礼・心のかたち展	2/27～3/4	6	753	水彩画約60点 西国巡礼シリーズ関連作品39点と最近の研究作品約24点を展示
愛知産業大学通信教育部造形学部建築学科 建築卒業研究展	3/13～3/18	6	278	愛知産業大学通信教育学科の卒業展示
こどもたちとアーティストの春の散歩道	3/20～3/25	6	390	ワークショップや音楽ライブやライブペイント。のんびり散歩道のような『滞在型アート展』
第20回Aクロスの会作品展「遊びの交差展」	3/27～4/1	6	818	草ペン画・水彩画・写真・折り紙・ビーズ織り・カラフル書・版画・中国画・トールペインティング・ステンドグラス・デコレーションペイント・中国画・五行歌
合 計		280	30,782	

山本裕子

【展覧会企画】

2024.9.14-12.15

「あらがう」 福岡市美術館 近現代美術室B

【執筆】

2024. 4

「KYNE-GIRLとは何か」福岡市美術館『ADAPTATION-KYNE』展図録、109-123頁

2024. 9

「『あらがう』ということ」福岡市美術館『あらがう』展図録、6-13頁

中尾智路

【執筆】

2024.12.25

「抜け殻のついでメモ」『海の中道の磯良 杉原信幸×中村綾花』

2025. 3.31

「ふたつの世界」語りだす風景」「暗闇への応答：ここからどこへ」、福岡アジア美術館編『令和5年度福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス活動記録集』

【その他】

2024. 8

福岡県障がい者アートレンタル事業選考委員

2024.10

アジアデジタルアート大賞展審査員

五十嵐理奈

【執筆】

2024

「セメントの粉の重さ」『古賀義浩個展「I'm almost there」』、多摩美術大学

2024

「会員寄稿：勢いづくバングラデシュ現代美術界(4)-チョビ・メラ」『日本バングラデシュ協会メールマガジン』128号、2024年6月号、1頁(巻頭言)。

2024

「会員寄稿：ベンガルの大地を描くこと1 — S.M.スルタン」『日本バングラデシュ協会メールマガジン』132号、2024年10月号、1頁(巻頭言)。

2025

「会員寄稿：ベンガルの大地を描くこと2 — ショフィウッディン・アフメッド」『日本バングラデシュ協会メールマガジン』136号、2025年2月号、1頁(巻頭言)。

2024

「風はあがり続ける(清水美帆)」『セメントの粉の重さ(古賀義浩)』福岡アジア美術館編『令和5年度福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス活動記録集』

2024

"The Fukuoka Asian Art Museum Collection: In Search of New Definitions of Art/ 후쿠오카아시아미술관 소장품: 새로운 '미술'을 찾아서(福岡アジア美術館のコレクション—「美術」とは何かを探る収集活動)", *MMCA Studies 2024*, 韓国国立近現代美術館編、36-53頁。

【講演等】

2024. 6.22

古賀義浩との対談『古賀義浩個展「I'm almost there」』、多摩美術大学(東京)

2024.10.18

"Reconsidering Museums through Artist in Residence Program" 2024 Gapado AiR International Residency Forum, Jeju Culture and Arts Foundation (韓国、済州)

2024.12.13

「1960-70年代のミャンマー現代美術：ModernとContemporaryをめぐって」『東南アジア美術公開セミナー「現代美術のはじまり？—1960-70年代の東南アジアを事例に」』広島市立大学(広島)※山本文子と共同発表

2025. 3. 7

「アジア美術資料の活用に向けた取組と課題」『令和6年度アジア情報関係機関懇談会』国立国会図書館関西館(大阪)※津森洋子と共同発表

趙純恵

【執筆】

2024. 4

「ミュージアム・ミュージアム」九州藝術学会誌『デアルテ』40号

2024. 4.14

「はすれ者が豊かさをつくる」毎日新聞(東京朝刊)連載[ART!]

2024. 6. 9

「美術でないものから見る」毎日新聞(東京朝刊)連載[ART!]

2024. 8.11

「泡のような儚き(生)」毎日新聞(東京朝刊)連載[ART!]

2024.10.13

「布から広がる精神世界」毎日新聞(東京朝刊)連載[ART!]

2024.10

「美術館を有機的でやわらかに」西日本新聞(朝刊)[オビニオン]

2024.12.10 「名もなき人々の声をく見る」毎日新聞(東京朝刊)連載[ART!]
 2025. 2.11 「苦痛の中に見いだす美しさ」毎日新聞(東京朝刊)連載[ART!]
 【講演等】
 2024. 7. 7 第57回アジア近代美術研究会「開館25周年記念コレクション展 アジアン・ポップ 展覧会紹介」、福岡アジア美術館
 2025. 2.15 福岡日韓フォーラム「福岡アジア美術館のコレクションからみる韓国現代美術」西南学院大学、福岡
 2025. 2.28 f-musenet「海外スタディツアー報告会(第15回光州ビエンナーレ視察報告)」福岡市美術館
 【その他】
 2024 国際芸術祭「あいち2025」キュレトリアルアドバイザー(現代美術)
 2024 西南学院大学 非常勤講師(博物館実習)

栗原ふみ

【執筆】
 2024.11 福岡市文化芸術振興財団 機関誌wa vol.95「おしゃべりな学芸員」
 【講演等】
 2024. 5.12 「報告:NCAR北米スタディツアー——北米の「ミュージアム」の現在地」、第56回アジア近代美術研究会、福岡アジア美術館(福岡)
 2024. 7. 7 「ベトナム美術調査報告—ホーチミンシティ訪問記」、第57回アジア近代美術研究会、福岡アジア美術館
 2024. 7.17 基礎ゼミ特別講義「美術館で働くとどんな感じ?—若手学芸員のリアルなお仕事」、筑紫女学園大学(福岡)
 2024.10.12 「ベトナム近代美術における自然」、第20回松下スカラシップフォーラム・特別シンポジウム「東アジアの技藝と自然」、ベルサール御成門タワー(東京)
 【その他】
 2024.12. 1 LOVE FM「明治産業 presents「OUR CULTURE, OUR VIEW」」出演

佐々木玄太郎

【執筆】
 2024. 8 「表現者としての外山恒一」『葡萄會紀要 創刊号』よろづ研究 葡萄會
 2025. 2 「さまざまな場で光る地元作家の仕事」『ZENBI 全国美術館会議機関誌 vol.27』全国美術館会議
 【その他】
 2024. 6.16 トークイベント「中国アナキズムの今昔—百年前の回想:境界を越えた自由連合—未来の試演としての芸術:新たなアジア・インターナショナリズムの可能性?」通訳、art space tetra(福岡)
 2025. 2.10 「キュレーター招聘:プレゼンテーションレビュー」講師、京都市立芸術大学(京都)

黒田雷児

【執筆】
 2025. 3 アジア美術資料室 重要作家(ジョージ・キート、カルロス・フランシスコ、ヘンドラ・グナワン、バク・ソボ、タウン・ダッチャニー、ナリニ・マラニ、ヘリ・ドノ、チェ・ジョンファ、ナウイン・ラワンチャイクン)

蒲池昌江

【執筆】
 2024. 3 「白色の道程(山本聖子)」『風景と都市の記憶(花田智浩)』福岡アジア美術館編『令和5年度福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス活動記録集』
 【その他】
 2024. 4-2025. 3 令和6年度福岡県新進気鋭の芸術家育成事業 アドバイザー
 2024. 9-2025. 1 中村学園大学教育学部美術部門 非常勤講師

名簿

福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

後 小 路 雅 弘	北九州市立美術館館長
小 勝 禮 子	近現代美術史研究家・美術批評家
鈴 木 勝 雄	東京国立近代美術館企画課長

福岡アジア美術館レジデンス事業被招聘者協議委員

結 城 円	九州大学芸術工学研究院未来共生デザイン部門准教授
前 田 哲 明	九州産業大学芸術学部芸術表現学科特任教授
金 子 裕 子	福岡アジア美術館学芸課長

福岡アジア美術館職員(令和7年3月31日現在)

総 館 長	小 野 哲 司
館 長	岩 永 悦 子 (福岡市美術館長と兼務)
運 営 課 長	鴨 川 直 史
運 営 係 長	坂 本 学
事 務 職 員	碓 井 孝 子
事 務 職 員	山 下 晶 弘
会計年度任用職員	丸 江 忠 志
会計年度任用職員	青 木 陽 子
会計年度任用職員	篠 崎 奈 々
会計年度任用職員	福 永 尚
会計年度任用職員	大 曲 律 子
学 芸 課 長	金 子 裕 子 (山木 裕子)
収 集 展 示 係 長	五 十 嵐 理 奈
学 芸 員	柴 原 ふ み
学 芸 員	佐 々 木 玄 太 郎
交 流 ・ 教 育 係 長	中 尾 智 路
学 芸 員	趙 純 恵
学芸員(再任用)	黒 田 雷 児
会計年度任用職員	蒲 池 昌 江
会計年度任用職員	津 森 洋 子
会計年度任用職員	宮 川 緑
会計年度任用職員	堺 由 加 子
会計年度任用職員	嶋 津 ほ の か
会計年度任用職員	藤 井 泉
会計年度任用職員	李 昭 賢
会計年度任用職員	松 本 彩 花

発 行 2025年10月
福岡アジア美術館
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
<https://faam.city.fukuoka.lg.jp/>
デザイン 城島印刷株式会社
印 刷 福岡アジア美術館
著 作 権 2025年(禁無断転載)



この紙は地球環境保護のため、
再生紙を使用しています。

